



2022 年度 事業報告

第 1 号議案 2022 年度事業報告案

[2022/4～2023/3]

第 2 号議案 2022 年度決算報告案

<目次>

I. 法人理念および方針	1
II. クレド	2
III. 2022 年度事業報告	3
1. 3 か年計画 2022 ～ 2024 期 [抜粋]	3
2. 2022 年度事業報告	
①法人本部	14
②かしの木ケアセンター	18
③生活介護くろす	25
④相談支援センターかしの木	27
⑤地域生活サポートセンターらいと	29
⑥のびる作業所	30
⑦すてっぷ	33
●2022 年度 各事業所年次報告	35
●2022 年度 委員会報告	41
●2022 年度 入所支援係各ユニット年次報告	47
IV. 2022 年度決算報告	49
●2022 年度決算について	49
●2022 年度決算	52

I. 法人理念および方針

理念

社会福祉法人めぐみ会は地域と共に歩み、地域の福祉を担います。

私たちは地域の社会福祉の担い手として、共に暮らしている隣人たちと考え、創り、社会福祉活動を推進していきます。また社会福祉法人としてのあるべき姿を追求し、地域に必要とされる法人を目指します。

方針

地域福祉の推進

私たちはすべての人の「しあわせ」を考えた地域を目指します。

私たちが暮らしを営む中で、「しあわせ」を感じる時には、満足感や安らぎ、そして自然と笑顔がこぼれます。「福祉」とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味します。私たちが考える社会福祉とは、生活上支援が必要な方に生活の質が維持、向上するためのサービスを提供する事です。こうした活動の中で、支援を必要とする方々を含め、より多くの方が「しあわせ」を感じる事の出来る地域を目指します。

権利の尊重

私たちはすべての人の尊厳を尊重し、自分らしさの実現を支援します。

憲法で保障された基本的人権の尊重を遵守し、差別なく、どのような個性や環境をお持ちの方であっても、私たちはその人らしさを大切にし、その言葉や意向に耳を傾けます。そして生活の中での楽しみや働く喜びなど、自分らしさを実現する支援をします。

法令の遵守

私たちは法令を遵守して、社会に信頼される法人であり続けます。

社会福祉法人は公共の利益を目的とした法人です。私たちは法令を正しく守り、社会の信頼を得るために積極的に情報公開や説明責任を果たします。

人材の育成

私たちは専門家としての自覚を持ち、創造力と向上心を発揮する職員を育成します。

私たちは人の「しあわせ」を目的としており、人との関わりが非常に大切です。専門職としての充実と共に人間力が必要とされます。法人は職員を人として、なおかつ福祉従事者として十分に成長出来るような取り組みをし、地域が必要とする人材を育成します。

経営の安定

私たちは持続可能な福祉の実現に向けて、経営基盤の安定に努め、社会的責任を果たします。

国の施策方針や景気の変化にも耐えうる為の経営努力を怠らず、なおかつ安定したサービスの提供を継続していくことが、めぐみ会に与えられた社会的責任と考えます。

職場環境の充実

私たちは心身共に健康で、安心して長く働ける職場環境をつくります。

質の高いサービスを提供する為には職員が心身共に健康でなければなりません。その為に生活と仕事のバランスがとりやすい職場環境を配慮し、職員が健やかで長く勤められる職場を目指します。

CREDO

～私たちの使命と求める職員像～

私たち社会福祉法人めぐみ会は、地域の福祉を担うため社会から多くの求めを受けています。それを私たちは自らの使命として掲げその務めを果たします。

私たちの使命は、地域社会のしあわせを考えた組織活動を行うことです。それは私たちが地域社会の一員であり地域と共に歩む存在だからです。

- 1) 法令を遵守し、誰からも信頼される組織作りを行います。
- 1) 地域の活動に積極的に参加します。
- 1) 地域の方々にめぐみ会の活動を発信します。
- 1) めぐみ会内外の人々の声に耳を傾け、社会福祉法人として正しい行いをします。

私たちの使命は、利用者・家族に安心してサービスを利用していただける環境を作ることです。

それは、私たちが利用者の自分らしく自立（自律）した暮らしの実現を強く願っているからです。

- 1) 利用者の思いを第一に同じ目線で考え、行動します。
- 1) 利用者の状況把握に努め、適切なサービスを提供します。
- 1) 利用者・家族へ対する敬意を忘れることは決してありません。
- 1) いつも元気にあいさつをし、すべての人々とのコミュニケーションを大切にします。

私たちの使命は、専門職としての価値観を持ち、社会人として責任ある行動をとることです。

それは私たちが知識・技術を持つ福祉専門職であり、個性ある人格を有した社会人だからです。

- 1) 社会人として礼儀を重んじ、自らの言動に責任ある行動をします。
- 1) 常に向上心を持ち、どのような場面からも学ぶ姿勢を忘れません。
また、すべての職員が能力の開発の為その機会を得ることができます。
- 1) 一人一人の職員は認められた存在です。互いを尊重し認め合うことでより良い職場環境を自らの手で作り出すことができます。

3か年計画（2022年度～2024年度）〔抜粋〕

■テーマ

社会情勢の変化に耐えうる法人経営を構築し、地域に必要とされる法人を目指します

項目	計画	1年目（2022年）	2年目（2023年）	3年目（2024年）	
総務係・キャリアセンター 法人本部	1	新型コロナウイルス対策を継続し、堅実な事業運営を行います	<ul style="list-style-type: none"> ◆感染症対策委員会を継続し、対策の研究、訓練の実施 ⇒実施 ◆各事業所において新型コロナウイルス感染症予防マニュアル、BCPマニュアルの随時更新に努め、統一した支援の実施 ⇒実施 ◆新型コロナウイルス対策として、検査、ワクチン接種への迅速な対応 ⇒実施 ◆新型コロナウイルス対策として職員の検査費用負担やワクチン副反応の為の休みの配慮 ⇒実施 ◆新型コロナウイルスに関するメンタルフォローの体制の構築 ⇒未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆感染症対策委員会を継続し、対策の研究、訓練の実施 ◆各事業所において新型コロナウイルス感染症予防マニュアル、BCPマニュアルの随時更新に努め、統一した支援の実施 ◆新型コロナウイルス対策として、検査、ワクチン接種への迅速な対応 ◆新型コロナウイルスに関するメンタルフォローの体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ◆感染症対策委員会を継続し、対策の研究、訓練の実施 ◆各事業所において新型コロナウイルス感染症予防マニュアル、BCPマニュアルの随時更新に努め、統一した支援の実施 ◆新型コロナウイルス対策として、検査、ワクチン接種への迅速な対応 ◆新型コロナウイルスに関するメンタルフォローの体制の構築
	2	地域が必要とする資源を開拓して、地域社会に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅サービス部門として訪問看護事業所を設立し、入所支援から在宅サービスまでのトータルサポート体制の強化 ⇒2025年度開始へ延期 ◆地域が必要とする公益的な事業へ取り組み ⇒実施 ◆相談支援体制の強化 ⇒人員体制の安定と業務効率の見直しの実施を行った結果収入増となる ◆共同生活援助事業継続に向け、施設の契約更新の検討や設備改修の対応 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅サービス部門として訪問看護事業所を設立し、入所支援から在宅サービスまでのトータルサポート体制の強化 ◆地域が必要とする公益的な事業へ取り組み ◆相談支援体制の強化 ◆共同生活援助事業継続に向け、施設の契約更新の検討や設備改修の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆在宅サービス部門として訪問看護事業所を設立し、入所支援から在宅サービスまでのトータルサポート体制の強化 ◆地域が必要とする公益的な事業へ取り組み ◆相談支援体制の強化 ◆共同生活援助事業継続に向け、施設の契約更新の検討や設備改修の対応

	項目	計画	1年目（2022年）	2年目（2023年）	3年目（2024年）
総務係・キャリアセンター 法人本部	3	職員採用の完全な充足	<ul style="list-style-type: none"> ◆資格季節の一般社団法人を通して、海外での教育機関設立の計画、調査 ⇒ベトナム、フィリピンの学校関係者との打ち合わせを実施 ◆外国人技能実習生や留学生の介護福祉士免許取得に向けての支援 ⇒実施（介護実務者研修の取得支援） ◆さらなる海外人材の受け入れ方法（特定技能ビザ）の実施 ⇒実施（技能実習生からの移行） ◆登録支援機関登録 ⇒未実施（実施せずとも受け入れが可能なため） ◆各種IT広告媒体を利用した戦略採用計画の作成 ⇒IT広告媒体は活用しつつも計画の策定は未実施 ◆講師派遣校との取り組みの振り返りと検討 ⇒実施（継続しさらに強化する） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆既設の一般社団法人を通して、海外での教育機関設立の調査、設立準備 ◆外国人技能実習生や留学生の介護福祉士免許取得に向けての支援 ◆外国人留学生2名の養成校入学 ◆法人のブランディング強化およびPRの実施計画策定 ◆各種IT広告媒体を利用した戦略採用計画の実施 ◆講師派遣校からの入職1名 	<ul style="list-style-type: none"> ◆既設の一般社団法人を通して、海外での教育機関設立の運営開始 ◆外国人技能実習生や留学生の介護福祉士免許取得に向けての支援 ◆法人のブランディング強化とPRの実施 ◆各種IT広告媒体を利用した戦略採用計画の実施 ◆講師派遣校からの入職1名
	4	高品質のサービス提供を担える人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆ミドルマネージャー、中堅職員育成を強化ポイントとし、キャリアパスに関する研修の見直し ⇒実施（人材戦略として次年度より実施） ◆精神保健分野に関する職員教育の強化 ⇒未実施 ◆虐待防止、権利擁護に関する研修の受講、アンガーマネジメントに関する研修の受講の推進 ⇒実施（アンガーマネジメントは未実施） ◆人間力アップをめざし、海外の福祉に触れる機会を設けるなどの海外研修への参加 ⇒未実施 ◆機会や資金の付与を行い、資格取得を促し、介護福祉士3名、社会福祉士1名、精神保健福祉士1名の増加 ⇒対象者なし（ただし介護福祉士の取得に向けて介護実務者研修の取得支援を実施した。） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ミドルマネージャー、中堅職員育成を強化ポイントとし、キャリアパスに関する研修の実施 ◆精神保健分野に関する職員教育の強化 ◆虐待防止、権利擁護に関する研修の受講、アンガーマネジメントに関する研修の受講の推進 ◆人間力アップをめざし、海外の福祉に触れる機会を設けるなどの海外研修への参加 ◆機会や資金の付与を行い、資格取得を促し、介護福祉士3名、社会福祉士2名、精神保健福祉士1名の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ミドルマネージャー、中堅職員育成を強化ポイントとし、キャリアパスに関する研修の実施 ◆精神保健分野に関する職員教育の強化 ◆虐待防止、権利擁護に関する研修の受講、アンガーマネジメントに関する研修の受講の推進 ◆人間力アップをめざし、海外の福祉に触れる機会を設けるなどの海外研修への参加 ◆機会や資金の付与を行い、資格取得を促し、介護福祉士3名、社会福祉士2名、精神保健福祉士1名の増加

	項目	計画	1年目(2022年)	2年目(2023年)	3年目(2024年)
法人本部 総務係・キャリアセンター	5	職員定着に向けた労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務の効率化を図る為、業務用ソフトウェアの導入を検討 ⇒Microsoft365及び労務管理ソフト導入 ◆業務効率化による労働時間削減 ⇒未達成 ◆有給休暇を含む休日数、年間116日を目標 ⇒未達成 ◆有給休暇取得向上に向け年間1日リフレッシュ休暇の計画的付与 ⇒未達成 ◆職員面談を通じ、職員間のコミュニケーションの機会を増やす ⇒実施(ただし成果を得る段階には至らず) ◆2020年度 新入職員(中途採用者含む)の3年定着率を70%にします(2020年入職者から3年間平均) ⇒未達成(20%) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務の効率化を図る為、業務用ソフトウェアのデモ機導入 ◆業務効率化による労働時間削減 ◆有給休暇を含む休日数、年間117日を目標 ◆有給休暇取得向上に向け年間2日リフレッシュ休暇の計画的付与 ◆職員面談を通じ、職員間のコミュニケーションの機会を増やす ◆2021年度 新入職員(中途採用者含む)の3年定着率を70%にします(2020年入職者から3年間平均) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務の効率化を図る為、業務用ソフトウェアのデモ機導入 ◆業務効率化による労働時間削減 ◆有給休暇を含む休日数、年間117日を目標 ◆有給休暇取得向上に向け年間2日リフレッシュ休暇の計画的付与 ◆職員面談を通じ、職員間のコミュニケーションの機会を増やす ◆2021年度 新入職員(中途採用者含む)の3年定着率を70%にします(2020年入職者から3年間平均)
	6	地域交流・地域福祉への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域交流事業開催方法の見直し ⇒事業所ごとに見直し、開催 ◆ふれあいセンター事業を三芳町社会福祉協議会と連携し、運営 ⇒「かいものツアー」実施 ◆地域の避難所として、設備整備の検討 ⇒未実施 ◆三芳町施設連絡協議会を通して、地域の他事業所と連携して地域福祉に貢献 ⇒協議中 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域交流事業開催方法の見直し ◆ふれあいセンター事業を三芳町社会福祉協議会と連携し、運営 ◆地域の避難所として、設備整備の検討 ◆三芳町施設連絡協議会を通して、地域の他事業所と連携して地域福祉に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域交流事業開催方法の見直し ◆ふれあいセンター事業を三芳町社会福祉協議会と連携し、運営 ◆地域の避難所として、設備整備の検討 ◆三芳町施設連絡協議会を通して、地域の他事業所と連携して地域福祉に貢献

	項目	計画	1年目(2022年)	2年目(2023年)	3年目(2024年)	
法人本部	総務係・キャリアセンター	7	経営基盤安定に向けた継続的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆6か年の中期経営計画作成 ⇒未実施 ◆資金収支差額(修繕積立前)の収入比率4%を目標 ⇒0.3%に変更 ◆減価償却相当分の修繕積立金および人件費積立金を積立(減価償却相当7%) ⇒未達成 ◆のびる作業所の経営安定化に向けた対策への予算検討開始 ⇒実施 ◆年間事業活動収入7.5億円を目標 ⇒未達成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆6か年の中期経営計画作成 ◆資金収支差額(修繕積立前)の収入比率4%を目標 ◆減価償却相当分の修繕積立金および人件費積立金を積立(減価償却相当7%) ◆のびる作業所の経営安定化に向けた対策への予算検討 ◆年間事業活動収入7.7億円を目標 	<ul style="list-style-type: none"> ◆6か年の中期経営計画作成 ◆資金収支差額(修繕積立前)の収入比率4%を目標 ◆減価償却相当分の修繕積立金および人件費積立金を積立(減価償却相当7%) ◆のびる作業所の経営安定化に向けた対策への予算化 ◆年間事業活動収入8億円を目標
		8	施設の老朽化・整備に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆経年劣化による改修の計画的に改修 ⇒未実施 ◆契約期間満了時期を考慮して賃貸やリース物件等の精査 ⇒サーバーをクラウド化 ◆減価償却期間経過物件の入替を検討(車両や設備機器等) ⇒厨房機器の入れ替え実施 ◆かしの木ケアセンターの蓄電システムの構築1F西 ⇒日産リーフの導入に変更 未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆経年劣化による改修の計画的に改修 ◆契約期間満了時期を考慮して賃貸やリース物件等の精査 ◆減価償却期間経過物件の入替を検討(車両や設備機器等) ◆かしの木ケアセンターの蓄電システムの構築2F西 	<ul style="list-style-type: none"> ◆経年劣化による改修の計画的に改修 ◆契約期間満了時期を考慮して賃貸やリース物件等の精査 ◆減価償却期間経過物件の入替を検討(車両や設備機器等)
		9	地域交流・地域福祉への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆法人ホームページをリニューアルし、サービス紹介や宣伝に取り組む ⇒実施 ◆採用活動の戦略的な取組に対応する広報ツールを創出 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆リニューアルした法人ホームページの運用 ◆採用活動の戦略的広報ツールの運用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆リニューアルした法人ホームページの運用 ◆採用活動の戦略的広報ツールの振り返り

	項目	計画	1年目(2022年)	2年目(2023年)	3年目(2024年)
かしの木ケアセンター 入所支援係	10	地域の一部として担うべき機能の調査	<ul style="list-style-type: none"> ◆求められる利用ニーズ調査 ⇒実施 ◆情勢に応じたSSの受け入れ ⇒未達成 ◆生活困窮者支援の継続 ⇒実施 ◆地域住民との交流 ⇒一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆求められる利用ニーズ調査 ◆情勢に応じたSSの受け入れ ◆生活困窮者支援の継続 ◆地域住民との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ◆求められる利用ニーズ調査・評価 ◆SS利用者満足度調査 ◆生活困窮者支援の継続 ◆地域住民との交流
	11	利用者の多様なニーズに合わせた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆ユニット活動時間増に向けた取り組み ⇒実施 ◆外出機会の確保 ⇒一部実施 ◆イベントの充実 ⇒実施 ◆地域移行意向調査 ⇒未実施 ◆認知症等その他の疾患予防 ⇒実施 ◆かしの木基本サービスの周知 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ユニット活動時間増に向けた取り組み ◆外出機会の確保 ◆イベントの充実 ◆意向調査結果を踏まえた支援体制の検討 ◆認知症等その他の疾患予防 ◆かしの木基本サービスの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ユニット体制の評価、見直し ◆外出機会の確保 ◆イベントの充実 ◆地域生活体験等、地域移行支援の実施 ◆認知症等その他の疾患予防 ◆かしの木基本サービスに基づいた支援の実施
	12	こころもからだも健康で知識技術を携えた質の高い支援者の育成と定着(職員)	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者権利擁護に関する研修会 ⇒実施 ◆知的障害に関する知識技術の向上 ⇒未実施 ◆精神障害に関する知識技術の向上 ⇒一部実施 ◆心身ともに健康な職員の育成 ⇒実施 ◆業務改善チームの発足と課題の整理 ⇒一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者権利擁護に関する研修会 ◆知的障害に関する知識技術の向上 ◆精神障害に関する知識技術の向上 ◆心身ともに健康な職員の育成 ◆業務改善の取組実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者権利擁護に関する研修会 ◆知的障害に関する知識技術の向上 ◆精神障害に関する知識技術の向上 ◆心身ともに健康な職員の育成 ◆業務改善の取組実施、評価
	13	快適な生活を送るための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆導入可能な福祉機器の調査 ⇒実施 ◆老朽化に対する修繕実施 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉機器の導入 ◆老朽化に対する修繕実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆福祉機器の導入 ◆老朽化に対する修繕実施

	項目	計画	1年目(2022年)	2年目(2023年)	3年目(2024年)
かしの木ケアセンター 健康支援係	14	看護師が医療機関で研修を受ける機会を作りサービスの向上を図る	◆医療機関における医療(処置内容・検査・診断など)や感染作る ⇒未達成	◆前年度に学んだことをどのように活かしていくか検討する	◆研修で学んだことや検討したことを利用者の予防ケアにつなげる
	15	利用者の動作能力を活かせるようトランスファー技術向上に取り組む	◆リハビリコーディネーターと連携し、個々のケアワーカーのトランスファー技術を評価する ⇒達成	◆1年目の評価結果から問題点を抽出し実践・再評価を実施する	◆新人など他のケアワーカーにOJTできる力を取得できるように入所支援係と連携して取り組む
	16	入所施設で認知症・褥瘡・便秘の予防に取り組む 1. 認知症予防: 認知症と診断されている方が入所者の10%以下となることを目指す 2. 褥瘡予防: 褥瘡発生ゼロを目指す 3. 便秘予防: 頓服下剤服用または浣腸回数が全体の10%減少を目指して取り組む	1. 少人数の利用者を対象とし、個々に目的を持った取り組みをおこなう ⇒達成 2. 褥瘡がしやすい利用者の把握と発生要因の分析 ⇒未達成(把握はできた) 3. 少人数の利用者を対象とし、腹部マッサージをおこない効果を評価する ⇒達成	1. 前年度の評価をもとに対象人数を2倍に増やして認知症予防個別の取り組みをおこなう 2. 褥瘡の好発部位の観察や対応方法、適切な器具の活用などの実施 3. 便秘傾向の利用者を対象とした取り組みを増やし、頓服下剤または浣腸回数5%減少を目指す	1. 2年間の個別の取り組みに加え、他者との関りを増やすためにグループでの取り組みを実施 2. 褥瘡予防に関して介護職員間でOJTできるしくみを作る 3. 前年度の取り組みを評価し、効果的な便秘予防方法を模索し、頓服下剤服用または浣腸回数が全体の10%減少するよう目指す
	17	通所(くろす)における感染予防対策強化とリハビリの充実 1. 感染予防対策を強化し職員間でOJTできるように取り組む 2. リハビリ体制を再構築・充実し利用者の満足度を向上させる	1. 職員の感染予防の知識を高めるために、定期的に研修を実施する ⇒未達成(1回のみ実施) 2. リハビリ提供状況を集約する ⇒達成	1. 介護職員と連携して、くろすにおける感染予防上の利用可否判断基準を作成する 2. リハビリに対するニーズを充足させる取り組み	1. 2年目に作成した基準をもとに、新人職員等にOJTできるようになる 2. 評価を基に利用者満足度向上につながるリハビリ提供を検討する
18	在宅支援事業の訪問看護開始に向けての取り組み 1. 職員配置のための人材確保 2. 研修への参加 3. 事業開始のための準備 4. 訪問看護事業開始	(1) 職員配置のための人材確保 ⇒未達成 (2) 研修への参加 1. 訪問看護に必要な研修の受講 ⇒未達成 2. 精神科のある医療機関で研修を受ける ⇒未達成	(1) 職員配置のための人材確保 (2) 研修への参加。 1. 他事業所での研修(訪問同行や実務を学ぶ) (3) 事業開始のための準備 1. 理念や方針の決定 2. サービスエリアの決定 3. 在宅サービス開始を地域に広め、利用者の獲得に努める	(1) 職員配置のための人材確保 (2) 研修への参加。 1. 精神科看護に関する研修に参加 (3) 訪問看護事業開始 1. 理念や方針の周知。 2. サービスエリア近隣の行政や事業所への知名度上昇に取り組む、利用者獲得につなげる	

	項目	計画	1年目(2022年)	2年目(2023年)	3年目(2024年)
かしの木ケアセンター 栄養係	19	衛生的かつ安心・安全で 良質な食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆厨房職員との情報共有・連携の強化 →実施 1. 月1回の給食会議で献立の検討や意見交換の実施 2. 厨房職員との業務ノートを活用し、日々の連絡事項において共有を図る ◆施設入所者の食形態の見直し →実施 ◆定期的な個々の栄養評価・経過観察(栄養ケアマネジメント)を継続実施 →実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆厨房職員との情報共有・連携の強化 1. 月1回の給食会議で献立の検討や意見交換の実施 2. 厨房職員との業務ノートを活用し、日々の連絡事項において共有を図る ◆施設入所者の食形態の見直し ◆定期的な個々の栄養評価・経過観察(栄養ケアマネジメント)を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆厨房職員との情報共有・連携の強化 1. 月1回の給食会議で献立の検討や意見交換の実施 2. 厨房職員との業務ノートを活用し、日々の連絡事項において共有を図る ◆施設入所者の食形態の見直し ◆定期的な個々の栄養評価・経過観察(栄養ケアマネジメント)を継続実施
	20	利用者に喜ばれる 食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆月6回以上の選択食の提供 →実施 ◆イベント食の実施 →実施 ◆リクエスト食の実施 →実施 1. 毎月ユニットごとにリクエストを募集(各ユニット年3回担当制) 2. 毎月くろすからのリクエストを募集 ◆かしの木オリジナルメニュー第一弾販売 →実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆月6回以上の選択食の提供 ◆イベント食の実施 1. 季節の行事に合わせた食事を提供 2. 47都道府県各地のご当地メニューを年6回以上提供 ◆リクエスト食の実施 1. 毎月ユニットごとにリクエストを募集(各ユニット年3回担当制) 2. 毎月くろすからのリクエストを募集 ◆かしの木オリジナルメニュー第一弾販売 →実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆月6回以上の選択食の提供 ◆イベント食の実施 1. 季節の行事に合わせた食事を提供 2. 47都道府県各地のご当地メニューを年6回以上提供 ◆リクエスト食の実施 1. 毎月ユニットごとにリクエストを募集(各ユニット年3回担当制) 2. 毎月くろすからのリクエストを募集 ◆かしの木オリジナルメニュー第一弾一般販売
	21	おいしい食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆食卓の一部変更(テーブルの購入検討) →実施 ◆食器類の変更(主食和食皿の購入) →購入 ◆嗜好調査の活用し(施設の食事「おいしい」利用者・職員平均70%をめざす) →達成 ◆検食簿評価の主菜について、味付け「良い」の年間平均値80%をめざす →達成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆食卓の一部変更(テーブルの購入検討) ◆食器類の変更(自助コップの購入) ◆嗜好調査の活用し(施設の食事「おいしい」「まあまあおいしい」併せた利用者・職員平均95%をめざす) ◆検食簿評価の主菜について、味付け「良い」「やや良い」併せた年間平均値95%をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ◆食卓の一部変更(テーブルの購入検討) ◆食器類の追加購入(和食小鉢の購入) ◆嗜好調査の活用し(施設の食事「おいしい」「まあまあおいしい」併せた利用者・職員平均95%をめざす) ◆検食簿評価の主菜について、味付け「良い」「やや良い」併せた年間平均値95%をめざす

	項目	計画	1年目(2022年)	2年目(2023年)	3年目(2024年)
生活介護 くろす 通所支援係	22	充実した活動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆リハビリ提供(内容・体制)の評価 ⇒実施 ◆活動(プログラム)に対するニーズの把握・検討 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆リハビリに対するニーズを充足させる取り組み ◆ニーズに合った活動(プログラム)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆リハビリ提供の評価・検討つなげるリハビリの検討 ◆活動の評価
	23	サービスの質の向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員の育成のための研修の実施 ⇒実施 ◆サービスの標準化をめざした 1.業務マニュアルの見直し ⇒実施 ◆職員の健康増進のための取組 1.腰痛予防のための機器の導入の検討 ⇒実施 2.業務改善のための取組 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員の育成のための研修の実施 ◆サービスの標準化をめざした業務マニュアルの整備 ◆職員の健康増進のための取組 1.腰痛予防のための機器の導入 2.業務改善のための取組 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職員の育成のための研修の実施 ◆マニュアルをもとにOJTを実施 ◆職員の健康増進のための取組 1.機器の導入の評価 2.業務改善のための取組
	24	感染症対策強化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆BCPの沿ったシミュレーションの実施 ⇒未実施(BCP・マニュアルの変更) ①役割分担の確認 ②有事の際の対応 ◆利用者・家族との連絡ツールの検討 ⇒ライン@開設 ◆感染予防の知識を高めるための研修受講 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者・家族との連絡ツールを確立 ◆健康支援係と連携を取り、感染予防上の利用可否判断基準の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆2年目に作成した基準をもとに、新人職員等にOJT実施
	25	安定した運営への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の利用ニーズの把握 ⇒実施済み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆定員を含めた運営の在り方の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運営新事業の提案

		項目	計 画	1年目 (2022年)	2年目 (2023年)	3年目 (2024年)
相談支援センター かしの木	相談支援係	26	安定した運営の構築	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画相談モニタリング達成率70% ⇒月内での実施率は44% ◆業務マニュアルの構築 ⇒業務改善会議を設立 ◆三芳町障がい者生活支援センター事業(委託)に関して、行政との連携強化 ⇒委託相談業務連絡会議を定例化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画相談モニタリング達成率80% ◆業務マニュアルの構築 ◆三芳町障がい者生活支援センター事業(委託)に関して、行政との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画相談モニタリング達成率100% ◆業務マニュアルの構築 ◆三芳町障がい者生活支援センター事業(委託)に関して、行政との連携強化
		27	相談員としての品質向上に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種分野の研修・勉強会への参加(特に精神保健分野) ⇒達成 ◆復命研修の実施 ⇒未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種分野の研修・勉強会への参加(特に精神保健分野) ◆復命研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種分野の研修・勉強会への参加(特に精神保健分野) ◆復命研修の実施
地域生活サポートセンター らいと	地域生活支援係	28	安定した運営、サービスの質の向上への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務マニュアルの検討 ⇒未実施 情報収集のみ ◆利用者のニーズに合わせた予約システムの検討 ⇒未実施 ◆障害特性のスキルを上げるための研修への参加 ⇒実施 ◆登録ヘルパーの採用(2名以上) ⇒未達成 1名のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務マニュアルの実施 ◆利用者のニーズに合わせた予約システムの作成 ◆障害特性のスキルを上げるための研修への参加 ◆登録ヘルパーの採用(2名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務マニュアルの見直し ◆利用者のニーズに合わせた予約システムの実施 ◆障害特性のスキルを上げるための研修への参加 ◆登録ヘルパーの採用(2名以上)
		29	事業所拡大への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆現在のサービス実施地域内のニーズ調査 ⇒未実施 ◆近隣地域の利用ニーズの把握 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業所の拡大を検討 ①常勤の増員の検討 ②事業所の場所の検討 ③サービス実施地域の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業所の拡大について、方向性を決定

	項目	計 画	1年目 (2022年)	2年目 (2023年)	3年目 (2024年)
のびる作業所 就労支援係	30	一般就労へ向けた支援の強化 (移行)	<ul style="list-style-type: none"> ◆一般就労への取り組み ⇒未達成 ◆施設外就労先の新たな開拓と継続 ⇒実施 ◆就労移行支援サービスの支援プログラムの継続 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一般就労への取り組み ◆施設外就労の継続 ◆就労移行支援サービスの支援プログラム継続 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一般就労への取り組み ◆施設外就労の継続 ◆就労移行支援サービスの支援プログラムの実施と継続
	31	就労に自信が持てる支援の強化 (B型)	<ul style="list-style-type: none"> ◆就労継続支援B型から就労移行支援へ1名ステップアップ ⇒達成 ◆社会性を養う支援の実施 ⇒実施 ◆作業工賃支給方法を検討します ⇒未実施 ◆文化芸術活動への参加 ⇒実施 ◆多種多様な障害に対し支援ができるよう研修に参加 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆就労継続支援B型から就労移行支援へ1名ステップアップ ◆社会性を養う支援の実施 ◆作業工賃支給方法を検討します ◆文化芸術活動への参加 ◆多種多様な障害に対し支援ができるよう研修に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆就労継続支援B型から就労移行支援へ1名ステップアップ ◆社会性を養う支援の実施 ◆作業工賃支給方法を検討します ◆文化芸術活動への参加 ◆多種多様な障害に対し支援ができるよう研修に参加
	32	安定した運営への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆B型年間利用率平均利用100%の維持 ⇒達成 ◆利用者充足のための取り組み ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆B型年間利用率平均利用100%の維持 ◆利用者充足のための取り組みの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ◆B型年間利用率平均利用100%の維持 ◆利用者充足のための取り組みの継続
のびる作業所 就労生活介護係	33	活動の充実に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産活動における作業の検討 ⇒未実施 ◆ニーズに合わせた活動の実施 ⇒実施 ◆文化芸術活動への参加 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産活動における作業の継続 ◆ニーズに合わせた活動の実施 ◆文化芸術活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆活動場所拡充生産活動における作業の継続 ◆ニーズに合わせた活動の実施 ◆文化芸術活動への参加
	34	安定した運営と強化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者充足の為の取り組み ⇒実施 ◆年間平均利用率、100%以上 ⇒未達成 ◆活動場所拡充の検討 ⇒未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者充足の為の取り組みの継続 ◆年間平均利用率、目標100%以上 ◆活動場所拡充へ向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者充足の為の取り組みの継続と評価 ◆年間平均利用率、目標100%以上 ◆活動場所拡充の実施

	項目	計 画	1年目 (2022年)	2年目 (2023年)	3年目 (2024年)
すてつぷ・いっぽ グループホーム係	35	安定したサービス提供への 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆余暇活動実施へ向け、感染症対策、職員配置の検討と実施 ⇒未実施 ◆社会性を養う取り組み(SST)をコロナ禍においても実施できるように検討と実施 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆余暇活動実施へ向け、感染症対策、職員配置の実施と評価 ◆社会性を養う取り組み(SST)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆継続した余暇活動の実施 ◆社会性を養う取り組み(SST)の継続
	36	安定した運営への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆いっぽ運営に関して検討及び方向性の確定 ⇒実施 ◆すてつぷ体験室活用方法の検討 ⇒実施 ◆利用希望待機者リストの作成の検討 ⇒実施 ◆感染症及び自然災害の対策への取り組み ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆いっぽ運営に関して前年度の確定した計画の実行 ◆すてつぷ体験室活用と評価 ◆グループホーム利用希望待機者リストの運用と見直し ◆感染症対策にかかる取り組み ◆BCP見直し、シミュレーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆いっぽ運営に関して計画の継続 ◆すてつぷ体験室活用と評価し、新事業の検討 ◆グループホーム利用希望待機者リストの運用と見直し
	37	環境改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆空調設備や付帯設備の修繕や入替えの調査、検討 ⇒実施 ◆ITシステムの調査 ⇒実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆空調や付帯設備の入替え修繕を必要箇所からおこなう ◆防犯カメラ設置の検討 ◆ITシステムの調査検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆空調や付帯設備の入替え修繕を引き続きおこなう ◆防犯カメラ設置を県へ要望 ◆ITシステムの調査検討

第1号議案

②各計画およびスケジュール

法人本部

3か年計画

- 1 新型コロナウイルス対策を継続し、堅実な事業運営を行います。
- 2 地域が必要とする資源を開拓します。
- 3 職員採用の完全な充足
- 4 高品質のサービス提供を担える人材育成
- 5 職員定着に向けた労働環境の整備
- 6 地域交流・地域福祉への取り組み
- 7 経営基盤安定に向けた継続的な取り組み
- 8 施設の老朽化・整備に対する取り組み
- 9 地域に向けた広報活動の取り組み

2022年度取り組み

1 新型コロナウイルス対策を継続し、堅実な事業運営を行います

実施内容	実績
◆感染症対策委員会を開催し、事業継続支援チームの訓練を継続します。	実施 (評価) 毎月第1金曜に感染症対策委員会を開催、会議終了後に事業継続支援チームの訓練を実施していることは評価できる。
◆感染症マニュアルおよび新型コロナウイルスBCPを更新します。	事業所ごとに随時更新中。 (評価) 情報変化や過多の状況下で随時更新をかけていたことは評価できる。
◆感染症対策委員会による各事業所へのチェック体制を構築します。	実施 (評価) 感染症対策委員会内でBCPの更新や備蓄状況などのチェックをおこなっていることは評価できる。

2 地域が必要とする資源を開拓します

実施内容	実績
◆共同生活援助事業の運営内容を見直し、今後の事業展開の検討をおこないます。	実施 (評価) すてっぷ：利用していない体験室を短期入所として活用した。 いっば：将来を見据えた施設の移転と規模の見直しを検討した。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。
◆2024年度開設に向けて訪問看護事業のスケジュールを作成します。	計画を確認し、2025年開始となった。 (評価) 現状を分析し、早めの計画変更が出来た事は評価できる。

3 職員採用の完全な充足

実施内容	実績
◆2023年卒内定者を4名以上獲得します。	6名の内定者を獲得。1名が辞退し5名が採用に至った。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。
◆配置不足箇所の中途採用職員を1名獲得します。	入所支援係1名、のびる作業所に1名を採用できた。 また非常勤職員から正職員への転換も1名行った。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。
◆外国人介護職員の採用活動をおこないます。 ①外国人留学生候補者(2023年度入学生)2名確保 ②登録支援機関への登録を行います。	1. 留学生候補者獲得の実績なし。 2. 特定技能の受入れに際して、所属機関による登録支援機関への登録が必須ではなかったため登録はしないこととした。特定技能の外国人2名を技能実習に引き続き雇用した。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。

4 高品質のサービス提供を担える人材育成

実施内容	実績
◆新人研修、中堅研修を実施します。	4月から9月にかけて、内部・外部の新人研修を実施した。10名が参加した。 中堅研修は5名を対象に下期に実施した。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。
◆R養成研修、R研修、経営者養成研修を検討します。	リーダー養成研修(3等級昇格要件)を12月から1月にかけて実施した。 リーダー研修、経営者養成研修については、人材戦略に基づき次年度以降に検討・実施とした。 (評価) リーダー養成研修について計画通り実施できたことは評価できる。
◆研修計画に基づく研修を実施します。	研修計画の在り方を検討中。 (評価) 効果的かつ効率的な研修の実施に受けて引き続き検討する必要がある。
◆オンラインでの研修に参加できるよう環境整備します。	未実施。徐々に対面での研修が再開される傾向で、一部オンラインでの開催については対応できている。 (評価) 今度の動向注視する。
◆3福祉の資格取得を促進します。	SDS制度を活用して、2名の職員が介護実務者研修を受講した。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。

5 職員定着に向けた労働環境の整備

実施内容	実績
◆業務の効率化を図る為、業務用ソフトウェアの導入を検討し、労働時間削減に取り組みます。	実施 (評価) IT導入補助金を活用しMicrosoft 365及び労務管理ソフト導入できたことは評価できる。
◆有給休暇を含む休日数を、年間116日を目標とします。	公休 100.0%取得(役員除く) 有休 94.3%取得 正職員のみ(休業中、退職、中途入職除く) (評価) 有休取得により一層の努力が必要

実施内容	実績
◆有給休暇取得向上に向け、年間1日リフレッシュ休暇の計画的付与に取り組みます。	リフレッシュ休暇 62.0% (49人/79人) 取得 (評価) 休暇を取れている部署と取れていない部署など考察が必要と考える。数値的には努力が必要。
◆職員寮の検討をします。	建貸物件を調査中。 (評価) 情報収集に努め、検討結果をまとめる必要がある。
◆ESを実施し、職場環境の改善について検討・実施します。	6月にESを実施した。結果はめぐみ会ホームページに掲載済み。結果を踏まえ新たに人材戦略を策定した。 (評価) ESをきっかけに人材戦略の策定に至ったことは成果。今後の実施と評価が課題。
◆新入職員（中途採用者含む）の3年定着率を70%にします。 (2020年入職者から3年間平均)	2020年度内に入職した正職員（5名）のうち、2023年3月末まで在籍した職員は1名（20%）だった。 なお、2022年度の離職率は8%（2022年度内離職者/2023年4月時点の正職員）となった。 (評価) 目標が達成できなかった。離職原因を分析し、定着に努める。

6 地域交流・地域福祉への取り組み

実施内容	実績
◆めぐみ会利用者と地域の方が一緒に参加できる法人行事を実施します。 ①法人全体行事については、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、個別に検討します。 ②利用者の文化芸術活動を発表する機会を継続して設け、社会参加を促進します。	①9/28に事業所ごとにめぐみ祭り開催。 ②実施 (評価) めぐみ祭りの、のびる作業所では外部の方を招いて催し物を実施できたことは評価できる。
◆ふれあいセンター事業を三芳町社会福祉協議会と連携し、地域の方と日常的に交流できる環境づくりをします。 ①高齢者買い物支援事業 「かいものツアーズ」を実施します。 ②SNSを活用し交流活動を発信します。	①実施。 (評価) 18回の買い物支援を実施できたことは評価できる ②実施 (評価) フェイスブックやインスタグラムなどで交流活動を発信した。
◆地域の福祉避難所として設備整備を検討します。 ①設備整備を検討します。	①未実施。
◆三芳町施設連絡協議会を通して、地域の他事業所と連携して地域福祉に貢献します。	三芳町福祉施設連絡協議会の災害協定担当事務局として、三芳町と継続して協議中。
◆生活困窮者担当相談員を配置し、地域の要望に応える体制を整えます。	相談員2名体制により2名の支援を実施。
◆地域貢献事業として「学福連携プロジェクト」に参加します。 ①将来地域福祉の中核的役割を担う介護人材育成を、地域の学校と共に取り組みます。	①実施 (評価) 上半期に他法人のハラスメント研修を受講したことは評価できる。

7 経営基盤安定に向けた継続的な取り組み

実施内容	実績
◆6か年の中期経営計画を作成します。	未実施 新規事業を踏まえ、次年度作成予定。 (評価) 検討を開始したことは評価できる。
◆資金収支差額(修繕積立前)の収入比率0.3%を目標とします。	未達成 0.04%
◆減価償却相当分の修繕積立金および人件費積立金を積立します。 (目標7.2%内訳修繕積立金6%、人件費積立金1.2%)	未達成 積立出来ず。
◆のびる作業所の経営安定化に向けた対策への検討を開始します。	達成 資金収支差額 12,863千円(繰入前)比率11.0% (評価) 水道光熱費の高騰により厳しい面もあったが、そのような状況下で収支差額を残せたことは評価出来る。
◆年間事業活動収入7.5億円を目標とします。	未達成 717,880千円(95.7%)

8 施設の老朽化・整備に対する取り組み

実施内容	実績
◆経年劣化による改修を計画的におこないます ①改修計画を検討します。	①かしの木ケアセンターの壁紙について現地調査を実施。
◆契約期間満了時期を考慮して賃貸やリース物件等の精査をします。 ①サーバーの入れ替えをおこないます。	Microsoft 365導入により、クラウドサーバー化済み (評価) IT導入補助金を活用して導入できたことは評価できる。
◆減価償却期間経過物件の入れ替えを検討します。(車両や設備機器等) ①かしの木ケアセンターの減価償却期間経過物件の入れ替えを検討します。 ②のびる作業所の機械設備・建物修繕を検討します。 ③各事業所の蛍光灯LED化を検討します。	1. 厨房機器入れ替え 2. 未実施。 3. 現地調査をおこなった。 (評価) 厨房機器入れ替えについては、3つの業者で比較をおこない適正な価格で導入できたことは評価できる
◆かしの木ケアセンターの蓄電システムを構築します。 ①日産リーフの導入	①未実施 (評価) 車両部材の不足などにより、今年度中の導入は困難となった。

9 地域に向けた広報活動の取り組み

実施内容	実績
◆法人ホームページをリニューアルし、サービス紹介や宣伝に取り組みます ①ホームページのリニューアルをおこないます。 ②SNS・YouTubeを活用してPR活動に取り組みます。	①ホームページ全面リニューアルに向けて制作を開始した。 ②実施 (評価) 計画通り進捗できたことは評価できる。今後の活用は継続課題となる。
◆採用活動の戦略的な取組に対応する広報ツールを創出します。 ①アニメーション動画を活用し福祉業界のイメージアップをおこないます。	①前年度に福祉の魅力向上実行委員会を設立し、尚美学園大学とアニメーション作成についての契約を取り交わした。初回動画は2023年4月に公開。 (評価) 先駆的な取り組みを実践出来た事は評価できる。

かしの木ケアセンター：入所支援係

3か年計画

- 10 地域の一部として担うべき機能の調査と強化
- 11 利用者の多様なニーズに合わせた取り組み
- 12 ころもからだも健康で知識技術を携えた質の高い支援者の育成と定着
- 13 快適な生活を送るための環境整備

2022年度取り組み

10 地域の一部として担うべき機能の調査と強化

実施内容	実績
<p>◆施設に求められる利用ニーズを調査します ①受入れに至らなかったケースの集計・分析</p>	<p>①受け入れに至らなかったケースは上半期6件、下半期17件。 (評価)下半期に広域での入居者募集をおこなったことや、医療的ケアの受入れ体制が整っていないことなどが要因となっている。一方で半数は感染症対策により受け入れ制限によるものであるため、対策緩和が進む次年度も追加の調査が必要となる。</p>
<p>◆新型コロナの情勢に応じたショートステイの受け入れ、60%を目指します</p>	<p>未達成。平均利用率は上半期47%、下半期47.4%、年間47.2% (評価)感染症対策により受け入れの制限をおこなったこと、入所調整窓口が他の業務により進捗が円滑でなかったことが要因。次年度の課題とし、継続とする。</p>
<p>◆生活困窮者への支援を継続します</p>	<p>2名の支援を実施。 (評価)2名の支援を通し、事業の必要性が確認されたため、次年度も継続とする。</p>
<p>◆地域住民との交流の機会を設けます</p>	<p>ふれあいセンターとの交流として、10月職員対象に簡単介護技術講座、3月利用者対象に栄養講座を実施。 (評価)感染症対策が続く中で交流の機会が持てたことは評価できる。地域交流の機会は限定的であったため、次年度は積極的参加をしていく必要がある。</p>

11 利用者の多様なニーズに合わせた取り組み

実施内容	実績
<p>◆ユニット活動時間の増加に向けた取り組みをおこないます ①課題の整理 ②午前中に活動が提供できるようになるための取組</p>	<p>①担当職員の業務が生活支援とユニット活動と混同しており活動提供の阻害要因であることが明らかとなった。 ②ユニット活動専従職員を配置し、午前の内職作業を開始。 (評価)一部、午前の活動提供が開始されたことは評価できるが、予定していた介護職によるリハビリ提供には至らなかったため、次年度継続課題とする。</p>

実施内容	実績
◆外出の機会を確保します	少人数にて近隣への買い物外出を計1回実施。 (評価)感染症対策により外出機会は限定的となっている。次年度、感染症対策緩和に合わせ、積極的な取り組みが必要。
◆年間の行事に加えて、新たなイベントを1つ以上企画します	3月マグロ解体ショーを実施。 (評価)利用者より、見ごたえや味について好評いただけたことは評価できる。
◆施設入所者の地域生活に関する意向調査を行います ①入居者を対象としたアンケート調査	①入所会議内で調査項目について協議されたが、アンケートの実施には至らず。 (評価)アンケートの実施に至らなかったため、次年度に実施とする。
◆健康支援係と連携し、認知症等その他の疾患の予防に努めます ①認知症予防 ②褥瘡予防 ③便秘予防	①月間実施平均7～10日で昨年度よりも増えている。同一時間帯での取り組みには制約があるため、次年度は別の方法も取り入れて継続、再評価予定。 ②褥瘡評価に用いる指標を決定したので、次年度に発生要因分析をおこなう。 ③(対象者5名)が、腹部マッサージによる効果は顕著ではないため次年度も継続。
◆かしの木基本サービスを周知します	再度館内に掲示することで周知強化をおこなった。 (評価)掲示及び呼びかけにより、基本サービスを軸としたサービス提供がおこなえたことは評価できるが、職員の入れ替わりや新規利用者も考慮し継続的な取り組みが求められる。
◆防災、防犯訓練の強化に努めます	参加者数の制限をなくし他部署との合同訓練を再開した。 (評価)実際の状況に近い想定での訓練を行うことで、避難方法、他部署への応援方法など新たな課題が明らかとなったため、次年度の課題とする。

12 こころもからだも健康で知識技術を携えた質の高い支援者の育成と定着

実施内容	実績
◆障害者権利擁護に関する研修会を開催します	研修会参加、動画視聴、個人ワークにより全職員受講。 (評価)全職員が受講できたことは評価できるが、一部の参加者は個人ワークとなり他者意見を聞く場が持てなかったことは次年度の課題となる。
◆知的、精神障害に対する支援の知識・技術の向上に取組みます ①研修会への参加 ②復命研修の実施	①職員1名オンライン研修受講。 ②実施に至らず。 (評価)ユニット単位での復命研修を予定していたが感染症の拡大などにより延期となっている。次年度に実施とする。

実施内容	実績
<p>◆心身ともに健康な職員を育成します</p> <p>①夜勤者とのカンファレンスの実施 ②職員面談の実施</p>	<p>①8月より開始。 ②全職員対象に実施。 (評価)評価面談とは別に相談の場を設けることで困難ケースの共有や対応検討の場となっていたため継続とする。一方で定期的な実施には至らず、職員からは相談できる場が少ないとの声もあり、次年度の課題とする。</p>
<p>◆心身の負担軽減と効率化を目的とした業務改善チームの発足と課題の整理をおこないます</p>	<p>2月業務改善チームを発足し、課題の整理をおこなった。 (評価)課題を整理できたことは評価できる。次年度対策立案、実施を予定。</p>
<p>◆入浴事故0に取り組みます</p> <p>①利用者に合わせた入浴形態、介助方法の見直しをおこないます ②入浴手順マニュアルの策定と介護職員への入浴実技研修をおこないます ③入浴日課の見直し、再編をおこないます ④リスクマネジメント強化に取り組みます ⑤必要配置職員数の見直しをおこないます ⑥入浴設備点検を強化します</p>	<p>①利用者個々の入浴形態、介助方法の見直しを実施。 ②入浴手順マニュアル作成し入浴実技研修実施。 ③一部入浴日課を変更し、人数の偏りを解消。 ④入浴介助にあたる職員全員に危険予知トレーニングを実施。 ⑤常時3名以上の配置が必要と判断し継続。 ⑥9月より入浴設備日常点検を開始。 (評価)上半期、入浴中の可能性が考えられる負傷1件あり、下半期対策を強化し0件となった。次年度も取組継続とする。</p>

13 快適な生活を送るための環境整備

実施内容	実績
<p>◆導入可能な福祉機器の調査をおこないます</p>	<p>入浴機器の調査をおこない、機械浴槽の入替が必要と判断。 (評価)2024年度 導入に向け、次年度も調査継続とする。</p>
<p>◆施設の老朽化に対する修繕を実施します</p>	<p>随時実施。(機械浴、トイレ、水道、雨漏り、道路補修、給湯器、洗濯機、乾燥機、電動ベッド、ナースコール、消防設備等) (評価)故障箇所に対し、早急に対応できたことは評価できる。</p>

かしの木ケアセンター：健康支援係

3か年計画

- 14 看護師が医療機関で研修を受ける機会を作りサービスの向上を図る
- 15 利用者の動作能力を活かせるようトランスファー技術向上に取り組む
- 16 入所施設で認知症・褥瘡・便秘の予防に取り組む
- 17 通所（くろす）における感染予防対策強化とリハビリの充実
- 18 在宅支援事業の訪問看護開始に向けての取り組み

2022年度取り組み

14 看護師が医療機関で研修を受ける機会を作りサービスの向上を図る

実施内容	実績
◆医療機関における医療（処置内容・検査・診断など）や感染予防策を学ぶ機会を作ります	1名参加。 （評価）オンラインも含め年間2名以上を目標としていたため、次年度も継続。

15 利用者の動作能力を活かせるようトランスファー技術向上に取り組む

実施内容	実績
◆リハビリコーディネーターと連携し、個々のケアワーカーのトランスファー技術を評価します	実施できた。 （評価）ケアワーカー対象にアンケートを実施。結果から課題の抽出・考察まで行った。

16 施設入所利用者の認知症・褥瘡・便秘の予防に取り組む

実施内容	実績
◆認知症予防に取り組めます ①少人数の利用者を対象とし、個々に目的を持った取り組みをおこなう。	実施できた。 （評価）月間実施平均7～10日で昨年度よりも増えている。同一時間帯での取り組みには制約があるため、次年度は別の方法も取り入れて継続、再評価予定。
◆褥瘡予防に取り組めます ①褥瘡がしやすい利用者の把握と発生要因の分析。	利用者の把握はできた。 （評価）褥瘡評価に用いる指標を決定したので、次年度に発生要因分析を持ち越し。
◆便秘予防に取り組めます ①少人数の利用者を対象とし、腹部マッサージをおこない効果を評価する。	実施できた。 （評価）取り組みは実施できた（対象者5名）が、腹部マッサージによる効果は顕著ではないため次年度も継続。

17 通所（くろす）における感染予防対策強化とリハビリの充実

実施内容	実績
◆感染予防の知識を高めるために、定期的に研修を実施します	実施回数1回。 (評価) 研修を1回実施できたが、定期的な実施には至っていない。
◆リハビリ提供状況を集約する	実施できた。 (評価) くろす全利用者のうち3名を除いてリハビリを提供できている。(OTの配置により昨年度よりも1名増やせた)。 今後は提供体制について検討していく。

18 在宅支援事業の訪問看護開始に向けての取り組み

実施内容	実績
◆職員配置のための人材確保	未達成 (評価) 1名採用されたが短期間で退職。 キャリア採用看護師の育成計画の見直しは行えた。
◆人材育成のための研修に参加します ①訪問看護に必要な研修の受講。 ②精神科のある医療機関で研修を受ける。	未達成 (評価) ①人員配置ができず参加できなかった。 ②研修先との調整に至らなかった。

かしの木ケアセンター：栄養係

3か年計画

- 19 衛生的かつ安心・安全で良質な食事の提供
- 20 利用者に喜ばれる食事の提供
- 21 おいしい食事の提供

2022年度取り組み

19 衛生的かつ安心・安全で良質な食事の提供

実施内容	実績
<p>◆厨房職員との情報共有・連携を強化します</p> <p>①月1回の給食会議で献立の検討や意見交換の実施。 ②厨房職員との業務ノートを活用し、日々の連絡事項において共有を図る。</p>	<p>①毎月第三木曜日に給食会議を実施し、意見交換をおこなえた。 ②業務ノートへの記入のほかにも厨房の朝礼に参加し、日々情報共有を図っている。 (評価) 情報共有を重ね、安心安全な食事提供、事故に対して早急な対応・防止策の取り組みがおこなえたことは評価できる。</p>
<p>◆施設入所者の食形態の見直しをおこないます</p>	<p>食事摂取状況の確認をおこなうほかご利用者の要望を多職種と情報共有し必要性の高い方の食形態を変更した。 (評価) 日々の食事摂取状況の確認やご利用者との関わり、多職種との情報共有により、食形態の見直し、安心な食事の提供につながったことは評価できる。</p>
<p>◆定期的な個々の栄養評価・経過観察(栄養ケアマネジメント)を継続実施します</p>	<p>定期的に体重測定や食事摂取状況等の確認をおこない、個々の栄養評価を継続実施している。 (評価) 栄養ケアマネジメントの実施により、多職種との情報共有を図り個々の栄養管理につながったことは評価できる。</p>

20 利用者に喜ばれる食事の提供

実施内容	実績
<p>◆月6回以上、選択食を提供します</p>	<p>毎月7回以上実施。 (評価) 計画通り実施できたことは評価できる。掲示物でお知らせをおこないご利用者に楽しみにしていただけるよう工夫をおこなったことは評価できる。好評のため、継続の必要性がある。</p>
<p>◆イベント食を提供します</p>	<p>土用の丑の日やめぐみ祭り等、季節の行事に合わせたイベント食を実施。 (評価) 高評価に至ったこと、コロナ禍でも実現可能なイベント食を実施できたことは評価できる。次年度は、新たな取り組みとして47都道府県ご当地メニューを年6回以上提供予定。</p>

実施内容	実績
<p>◆リクエスト食を提供します</p> <p>①毎月ユニットごとにリクエストを募集（各ユニット年3回担当制）。</p> <p>②毎月くろすからのリクエストを募集する。</p>	<p>毎月9つ以上取り入れ、掲示物等でお知らせをしている。</p> <p>（評価）計画通り実施できたこと、掲示物でお知らせをおこないご利用者に楽しみにしていただけるよう工夫をおこなったことは評価できる。</p>
<p>◆かしの木オリジナルメニュー第一弾の販売を検討します</p>	<p>給食会議にて検討実施。</p> <p>（評価）販売する際の対象者や値段、販売方法等検討した。次年度、販売を予定。</p>

21 おいしい食事の提供

実施内容	実績
<p>◆食卓の一部変更【テーブルの購入検討】をおこないます</p>	<p>実施。購入方法や時期について検討した。</p> <p>（評価）次年度はテーブルについての職員対象アンケートをおこない、結果をもとに購入検討予定。</p>
<p>◆食器類を変更（主菜和食皿の購入）します</p>	<p>上半期に購入済み。</p> <p>（評価）計画通り実施できたことは評価できる。次年度、自助コップを購入予定。</p>
<p>◆嗜好調査を活用し施設の食事「おいしい」利用者・職員平均71%を目指します。</p>	<p>「おいしい」「まあまあおいしい」を合わせて、平均89%。</p> <p>（評価）計画通り達成できたことは評価できる。次年度は95%を目指す。</p>
<p>◆検食簿評価の主菜について、味付け「良い」の年間平均値80%をめざします</p>	<p>「良い」「やや良い」を合わせて、年間平均値93%。</p> <p>（評価）計画通り達成できたことは評価できる。次年度は95%を目指す。</p>

生活介護くろす

3か年計画

- 22 充実した活動への取り組み
- 23 サービスの質の向上への取り組み
- 24 感染症対策強化への取り組み
- 25 安定した運営への取り組み

2022年度取り組み

22 充実した活動への取り組み

実施内容	実績
◆リハビリ提供（内容・体制）の評価をおこないます	リハビリの内容や提供体制について集約できた。 （評価）次年度はリハビリのニーズを充足させるための取り組みをおこないます。
◆活動（プログラム）に対するニーズの把握・検討をおこないます	利用者・職員に活動に対するアンケートを実施した。 （評価）利用者・ご家族の希望や職員の活動に対する意識の確認ができ、今後の検討課題がみえてきたことは評価できる。

23 サービスの質の向上への取り組み

実施内容	実績
◆介護技術の向上を目的とした研修を実施（参加）します	動画視聴できる研修に1名参加している。 （評価）研修に参加できたことは評価できる。次年度は動画ではない研修への参加をおこないたい。
◆サービスの標準化を目的とした業務マニュアルの見直しをおこないます	業務マニュアルの見直しを実施し、マニュアル更新中。 （評価）マニュアルの見直しができたことは評価できる。次年度も引き続き整備していく。
◆職員の健康増進のための取り組みをおこないます ①腰痛予防のための機器の導入の検討 ②業務改善の為の取り組み	①スリングシート・マッスルスーツを試すが導入に至らず。 ②女性トイレに排泄介助用ベッド1台設置し、効率よく排泄の案内ができるようにした。 （評価）業務改善に取り組めたことは評価できる。次年度も引き続き取り組んでいく。

24 感染症対策強化への取り組み

実施内容	実績
◆BCPに沿ったシュミレーションをおこないません	未実施。初動対応のシュミレーションを実施予定であったが、BCPやマニュアルの変更により、内容の周知にとどまった。 (評価)今後の感染症対策の動向を注視し、次年度実施を検討したい。
◆利用者・家族との連絡を円滑に取れるようにするための環境を整えます	Line公式アカウント開設し、半数以上のご家庭登録済み。 (評価)連絡が円滑にとれるようになり、半数以上のご家庭が登録済みになっていることは評価できる。次年度もより多くの方に利用して頂き、ツールとして確立できるように取り組んでいく。
◆感染予防の知識向上のための研修を受講します	厚労省の動画を全員視聴できた。 (評価)常勤・非常勤・派遣を含む全員が研修受講できたことは評価できる。

25 安定した運営への取り組み

実施内容	実績
◆地域の利用ニーズを把握し、事業運営の適正な利用者数(定員)の評価をおこないます	増加率の推移を調査済み。開設から現在まで平均7%/年ずつ増加。直近の3年度では平均4.4%/年の増加。利用率平均125%に5年以内に達する見込みである。定員増によって、 ・サービスの利用制限 ・数年にわたり人件費が事業収入を上回ることから、現状の定員を維持することが妥当と判断した。 (評価)ニーズの把握、適正な事業運営の適正な定員の評価を実施できたことは評価できる。次年度は運営の在り方の検討をおこなっていく。

相談支援センターかしの木

3か年計画

26 安定した運営の構築

27 相談員としての品質向上に向けて

2022年度取り組み

26 安定した運営の構築

実施内容	実績
◆人員配置3.5～4名体制の定着を目標とします	8月末に相談員1名の配置転換があり、常勤換算3.4名配置となった。 (評価)その後、計画相談・委託相談とも大きな混乱なく実施できたことは評価できる。
◆行政と連携を強化します	三芳町福祉課との委託相談業務連絡会議を実施。 (4/26、5/24、6/28、7/26、10/25、11/22、1/24、2/28、3/28) (評価)定例化できたことは評価できる。
◆記録の在り方や業務マニュアルの作成及び見直しをおこないます	業務改善会議を開設、実施。(5/12)(6/13)(7/5)(8/7)(1/11)(2/7) 事業所の一覧リストの作成やケースファイル内の情報整理を開始。 (評価)業務効率化もあり予定モニタリングの実績率も向上している。
◆モニタリングを確実に実施します	月遅れで実施したものを含めず、月内に予定のうち実施したものは、 4月(10/33件)、5月(15/33件)、 6月(17/55件)、7月(14/33件)、 8月(18/34件)、9月(17/62件)、 10月(14/31件)、11月(20/34件) 12月(17/48件)、1月(18/33件)、 2月(22/33件)、3月(41/73件) (評価)相談員の人数が減った下半期でも実施数が安定した点は評価できる。

27 相談員としての品質向上に向けて

実施内容	実績
<p>◆新人職員の教育システムを構築します</p>	<p>4月に複数他市の相談事業所の情報収集を実施したが、構築には至らず。 (評価) 範囲を広げて調査するが、仮に見つかっても相談支援は関わるジャンルが広いため自事業所に適応するかは不透明。</p>
<p>◆研修や勉強会に参加し、あらゆる障害への対応力向上に取り組みます</p> <p>①精神保健分野についての研修に参加します。 ②復命研修をおこないます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健個別支援技術研修会(6/6) ・川越同仁会病院お家へ帰ろうプロジェクト(6/29、9/28、12/21、3/22) ・埼玉県立精神保健福祉センター研修(6/26、7/3、7/14) ・埼玉県発達障害者支援センター研修(9/22) ・地域精神保健医療福祉推進会議(9/22)(12/14) ・アウトリーチ事業評価委員会(11/1) ・ひきこもり支援者連絡会(12/1)(2/21) ・相談支援現任者研修(12/23) ・発達障害者基礎研修(12/23) ・朝霞保健所管轄相談支援専門員研修(2/16) ・ゲートキーパー研修(3/17) <p>(評価) 研修に多く参加できた一方、復命研修について実施できなかったのは課題が残る。</p>
<p>◆自立支援協議会等に参加します</p>	<p>西部ブロック会議に参加。(9/26)(3/20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会に参加。 【児】(1/17)(2/21) 【相談】(1/27) 【就労】(3/23) <p>(評価) コロナの影響で開催自体が少なかったが開催された時には参加できている。</p>

地域生活サポートセンター らいと

3か年計画

- 28 安定した運営、サービスの質の向上への取り組み
- 29 事業所拡大への取り組み

2022年度取り組み

28 安定した運営、サービスの質の向上への取り組み

実施内容	実績
◆業務マニュアルの検討をおこないます	未実施。ヘルパーからの情報収集はおこなったが検討に至るまではいかなかった。次年度はマニュアルの作成をしたい。
◆利用者のニーズに合わせた予約システムの検討をおこないます	未実施。利用者さんからは、今の予約方法に関して意見を聞くことができた。次年度は、予約方法の見直しをしていきたい。
◆障害特性のスキルを上げるための研修へ参加します	実施。1月に「自閉症（ASD）の理解と支援」の研修にオンラインで参加。また、登録ヘルパー1名が、行動援護と同行援護の研修に参加することができた。
◆登録ヘルパーの採用（2名以上）を目指します	未達成。同行援護のみのヘルパーを1名採用することはできた。

29 事業所拡大への取り組み

実施内容	実績
◆現在のサービス実施地域内のニーズ調査をおこないます	調査はおこなっていないが、新規相談のケースを分析すると、精神障がい者の方の家事援助、生活サポート、移動支援、行動援護などの外出サービスのニーズが高かった。
◆近隣地域の利用ニーズを把握します	近隣市町村からの相談件数と相談サービス内容を把握している。次年度は、利用相談を断ったケースについて分析していきたい。

のびる作業所：就労支援係

■3か年計画

- 30 一般就労へ向けた支援強化（就労移行）
- 31 就労に自信が持てる支援の実施（就労継続支援B型）
- 32 安定した運営への取り組み

■2022年度取り組み

30 一般就労へ向けた支援強化（就労移行支援）

実施内容	実績
<p>◆一般就労への取り組み</p> <p>①3名以上の就職を目指します。 ②就職後の職場定着率100%を目指します。 ③障害者雇用を1名行います。</p>	<p>5月1名 12月1名 合計2名</p> <p>①未達成 (評価) コロナ禍において障がい者雇用が減っている中2名就職に結びつけたのは評価できる。 ②就職後半年以内職場定着率100% ③未達成 (評価) 実習を2名行ったが、採用に至らなかった。</p>
<p>◆施設外就労先の新たな開拓</p> <p>①障害者支援施設において清掃作業の継続をします。 ②障害者支援施設において環境整備作業を継続します。 ③近隣高齢者施設において環境整備作業を継続します</p>	<p>①継続中。 ②継続中。 ③継続中。 (評価) 継続して施設外就労を行えたことは評価できる。施設外就労の新たな開拓としては、今年度中にはできなかったが、ふれせんと協力し来年度行えるよう交渉できたことは評価できる</p>
<p>◆就労移行支援のプログラム実施</p> <p>①座学の継続をします。 ②施設外就労を通じて社会性を養う支援をします。 ③SSTの専門性を高めるため、研修へ参加します。</p>	<p>①継続中。 ②継続中。 ③未実施。 (評価) 就労移行プログラムに関しては継続実施し、一定の効果が見られることは評価できる。SSTの研修へは参加できなかったため次年度参加できるよう調整をしていく。</p>

31 就労に自信が持てる支援の実施（就労継続支援B型）

実施内容	実績
<p>◆就労移行へのステップアップ</p> <p>①1名以上就労移行へステップアップを目指します。</p> <p>②就労移行と就労継続支援B型の作業場所をすみわけし、意欲が向上するよう支援をします。</p>	<p>①3名就労継続支援B型から就労移行へステップアップしている。</p> <p>②・就労移行の方専用作業テーブルで作業を実施。 ・就労移行の方は独自に朝礼、終礼を実施。 (評価) 一定数の利用者が一般企業への就労への意欲が高まっていることは評価できる。</p>
<p>◆社会性を養う支援の実施</p> <p>①施設外就労への参加をします。</p> <p>②年間行事を通じマナーを身に付けられる支援を行います。</p> <p>③施設外就労に参加し社会性を養う支援を実施します。</p>	<p>①実施済み 継続中。</p> <p>②7月16日に工場見学実施。</p> <p>③実施済み 継続中。 (評価) 感染症対策のためイベントが例年より少なかった。</p>
<p>◆作業工賃支給方法の検討をします</p>	<p>未実施。 (評価) 水光熱費の高騰や原材料費の高騰により実施できず。</p>
<p>◆文化芸術活動への参加</p> <p>①法人の文化作品展への出展をします。</p> <p>②三芳町福祉祭りへ作品の出展をします。</p>	<p>①実施。</p> <p>②中止のため未実施。 (評価) 法人の文化作品展に出展できたことは評価できる。</p>
<p>◆多種多様な障害に対し支援ができるよう研修に参加します</p> <p>①精神障害に関する研修に参加します。</p>	<p>①実施済み。 6月 精神・発達障害の研修に1名参加 (評価) 次年度は多くの研修に参加できるよう調整を行っていく。</p>

32 安定した運営への取り組み

実施内容	実績
<p>◆就労継続支援B型の平均利用率100%を維持します。</p>	<p>達成。(実績) 年間平均利用率：133.4% 上半期利用率：132.5% (施設外就労者含む) 下半期利用率：134.3% (施設外就労者含む)</p>
<p>◆利用者充足のための取り組み</p> <p>①特別支援学校、行政、各支援機関への訪問をおこないます。</p> <p>②特別支援学校、各支援機関から実習生の受け入れをおこないます。</p> <p>③埼玉県南西部地域就労移行支援事業所合同説明会へ参加します。</p>	<p>①コロナの影響で訪問できず。 4月各学校、行政、各支援機関へ電話にて挨拶。</p> <p>②実績：6名</p> <p>③実施済み 11月15日開催 (評価) 感染症の影響を受けつつも外部との連携を密にとれたことは評価できる。</p>

のびる作業所：就労生活介護係

3か年計画

33活動の充実に向けた取り組み

34安定した運営と強化への取り組み

2022年度取り組み

33 活動の充実に向けた取り組み

実施内容	実績
<p>◆生産活動における作業の充実</p> <p>①現在おこなっている作業だけでなく、多様な作業ができる様検討します。</p> <p>②将来、就労継続支援B型を希望している利用者に対し体験の時間を設けます。</p>	<p>①未実施。</p> <p>②未実施。</p> <p>(評価) 感染症対策により実施できず。</p>
<p>◆ニーズに合わせた活動の実施</p> <p>①利用者のニーズに合わせたユニット活動を行います。</p> <p>②利用者ニーズに合わせた年間行事を行います。</p>	<p>①実施済み</p> <p>アクティブユニット、創作レクユニットの2つのユニットを毎週木曜日に実施。</p> <p>②年間9回開催。</p> <p>4月：イースター 5月：鯉のぼり 7月：七夕 8月：夏祭り 9月：誕生日会 10月：ハロウィン 11月：昼食会 12月：クリスマス会、年越しそば 3月：花見</p>
<p>◆文化芸術活動への参加</p> <p>①法人の文化芸術祭へ出展。</p> <p>②三芳町福祉まつりへの出展。</p>	<p>①実施済み。</p> <p>②中止のため未実施。</p>

34 安定した運営と強化への取り組み

実施内容	実績
<p>◆利用者充足のための取り組み</p> <p>①特別支援学校、行政、各支援機関への訪問をおこないません。</p> <p>②特別支援学校、各支援機関から実習生の受け入れをおこないません。</p>	<p>①コロナの影響で訪問できず。</p> <p>4月各学校、行政、各支援機関へ電話にて挨拶。</p> <p>②実績：8名</p> <p>(評価) 感染症の影響を受けつつも外部との連携を密にとれたことは評価できる。</p>
<p>◆年間平均利用率100%を目指します。</p>	<p>未達成</p> <p>(実績)</p> <p>年間平均利用率：82.3%</p> <p>上半期利用率 83.9%</p> <p>下半期利用率：80.8%</p>
<p>◆活動場所拡充の検討をおこないません。</p>	<p>未実施。</p>

すてっぷ

3か年計画

- 35安定したサービス提供への取り組み
- 36安定した運営への取り組み
- 37環境改善への取り組み

2022年度取り組み

35 安定したサービス提供への取り組み

実施内容	実績
◆余暇活動実施へ向け、感染症対策、職員配置の検討をおこない、実施に向け取り組みます	感染症対策のため集団での余暇活動は実施せず、個別に外部サービスを利用するための連絡調整をおこなった。 (評価) 職員による集団での外出支援はおこなえなかったが、外部サービスを活用し個別に外出をすることができた。
◆社会性を養う取り組み(SST)をコロナ禍においても実施できるように、取り組みます	集団での活動はおこなわず、個別のSST活動として実施。 (評価) 集団での活動はおこなえなかったが、個別の活動として実施したことで、一人ひとりの課題を見出し支援につなげる事ができたのは評価できる。

36 安定した運営への取り組み

実施内容	実績
◆いっぽ運営に関する検討及び方向性を確定します	将来を見据えた施設の移転と規模の見直しを検討。 (評価) いっぽの賃借契約終了に備え、新たな運営方法の検討をおこない方向性が出せたことは評価できる。土地の選定など、次年度に向けて継続しておこなっていく。
◆すてっぷ独居体験室の活用方法を検討します	6月より短期入所として使用開始。 すてっぷ17床+短期入所1床となる。 (評価) 利用率は上がっていないが、地域で必要とされている方の利用はできており、今後も受け入れ態勢は取っていきたい。課題としては空室期間を減らす運用が必要と考える。
◆利用希望待機者リストの作成検討をします	のびる作業所と連携し作成の検討。 5月短期入所の利用希望調査をおこないリスト化している。 (評価) 短期入所の利用希望リストから、実際の利用につなげられたことはでき評価できる。今後は、共同生活援助事業の入所希望待機者リストの作成をおこなっていきたい。

実施内容	実績
<p>◆感染症及び自然災害時の対策に取り組みます</p> <p>①感染症BCPの見直し、感染予防の環境づくりをおこないます。</p> <p>②自然災害時のBCP作成をおこないます。</p>	<p>①見直し継続中。</p> <p>②防災防犯部会を中心に作成中。</p> <p>(評価) 新型コロナウイルス感染症においては、事業所内での感染者対応の際に活用されたが、実際にBCPに沿って対処した際に改善点が見つかり修正をおこなった。修正をおこなう事で実用的なBCPとなった事は評価できる。</p>

37 環境改善への取り組み

実施内容	実績
<p>◆空調設備や付帯設備等の修繕や入替えの調査、検討をおこないます</p>	<p>すてっぷⅠ、Ⅱ：7月床清掃・ワックスがけ。</p> <p>すてっぷⅠ：12月トイレドア補修</p> <p>すてっぷⅡ：2月トイレドア補修</p> <p>いっば：5月WAX清掃</p> <p>3月消防設備改修</p> <p>(評価) 業者によるワックス清掃をおこなったことが無いため、初めての導入となった。専門家がおこなう事で、床の汚れも取れ、ワックスもムラなくきれいに仕上げられていた。ご家族からも定期的におこなってほしいとの声も聞かれた。また、以前よりトイレの戸の建付けの問題があったが、一度に補修をおこないすべてを改善することができた。</p>
<p>◆職場環境で活用できるITシステムの調査をおこないます</p>	<p>5月：IT調査担当者の選任。</p> <p>8月：活用できるようなものがあるか調査。</p> <p>1月：職員の情報共有アプリに関して検討</p> <p>3月：careTEX東京視察。タスク管理システム導入検討している。</p> <p>(評価) 職場で活用できるITが無いか調査を開始し、職員間の情報共有を紙ベースでおこなっているため、PCやタブレットなど使用し情報共有できるものは無いか調査をおこなった。</p>

● 2022年度 各事業所年次報告

法人事務局				
総務係		キャリアセンター		
	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	・めぐみの森発行	・発行済み	・新入職員研修	・新入職員研修 実施済(～9月)
5月	・害虫駆除	・5/14・15に実施	・新入職員研修 ・オープンカンパニー1回目	・新入職員研修 実施済(～9月) ・オープンカンパニー 1回目 済
6月	・エアコンフィルター清掃 ・植木の剪定 ・池清掃 ・レジオネラ菌検査 ・貯湯槽清掃 ・職員会議	・下期に延期 ・9月に延期 ・7月に延期 ・7月に延期 ・9月に延期 ・6/26に実施	・2023年卒採用活動	・2023年卒者採用活動 随時実施 ※学校訪問、就職説明会等 ・ESを実施
7月	・受水槽清掃 ・消防設備点検 ・池清掃 ・レジオネラ菌検査	・8月に延期 ・7/7に実施 ・7/20に実施 ・7/22に実施		
8月	・めぐみの森発行 ・受水槽清掃	・発行済み ・8/21に実施	・オープンカンパニー2回目	・オープンカンパニー 2回目 済
9月	・植木の剪定 ・めぐみ祭 ・貯湯槽清掃	・9/6に実施 ・9/28に実施 ・9/4に実施		
10月	・ワックス清掃 ・エアコンフィルター清掃 ・電柱移設工事	・実施 ・実施 ・実施	・中堅研修	・中堅研修開始～3月まで
11月	・電柱移設工事 ・エアコンフィルター清掃 ・ワックス清掃 ・害虫駆除 ・浴室清掃	・実施 ・実施 ・実施 ・実施 ・実施		
12月	・防火設備点検 ・大掃除 ・ワックス清掃	・実施 ・実施 ・実施		・リーダー養成研修開始
1月	・めぐみの森発行	・発行済み		・正職員1名をキャリア採用
2月	・ワックス清掃 ・消防設備点検	・実施 ・実施		・留学生3名を採用 ・2023卒者2名を採用 ・非常勤から1名を 正職員採用
3月	・職員会議	・実施		
備考	・電気設備点検 奇数月 ・昇降機定期検査 4回/年 (1月、4月、7月、10月) ・ワックス/床清掃 10回/年 (前期:4月、5月、6月、7月、9月) (後期:10月、11月、12月、1月、3月)	・奇数月に実施 ・定期で実施 ・ワックス清掃延期	・サビ管基礎研修、更新研修 ・相談支援初任者研修、現任研修 ・介護初任者研修 ・衛生管理者・防火管理者 ・クリーニング師・福祉有償運送 ・実習指導者(介護・社福) ・強度行動障害・喀痰吸引	・基礎研修1名、更新研修2名 済 ・現任研修1名 済 ・実務者研修2名 済 ・なし ・有償:2名クリーニング師:1名 ・なし ・なし

かしの木ケアセンター					
入所支援係		健康支援係（看護・リハビリ）			
事業計画		実績	事業計画		実績
4月	・ユニット活動 ・身障協支援担当者会議	・実施 ・6月に実施	・新人職員医療研修 ・創作リハビリ、個別リハビリ	・実施 ・実施	
5月	・ユニット活動 ・身障協ゲーム交流会 ・昌蒲湯	・実施 ・中止 ・実施	・新人職員医療研修 ・利用者体重測定（ユニット毎） ・三芳町施設連絡協議会 ・創作リハビリ、個別リハビリ	・実施 ・実施 ・不参加 ・実施	
6月	・ユニット活動 ・身障協スポーツ交流会 ・夜間避難訓練、消火訓練	・実施 ・中止 ・11月に実施	・職員健康診断 ・新人職員医療研修 ・利用者健康診断 ・福祉医療職ネットワーク会議 ・登録研修機関 （喀痰吸引等研修） ・創作リハビリ、個別リハビリ ・精神科訪問看護研修会 （3日間）	・実施 ・実施 ・実施 ・未開催 ・実施 ・実施 ・下半期に延期	
7月	・ユニット活動 ・七夕飾り ・応急手当講習	・実施 ・未実施 ・2月に延期	・利用者体重測定（ユニット毎） ・登録研修機関 （喀痰吸引等研修） ・三芳町施設連絡協議会 ・創作リハビリ、個別リハビリ ・医療機関での研修（看護師）	・実施 ・実施 ・不参加 ・実施 ・未開催	
8月	・ユニット活動 ・防犯訓練 ・地震想定避難訓練、消火訓練	・実施 ・12月に延期 ・実施	・創作リハビリ、個別リハビリ	・実施	
9月	・ユニット活動 ・身障協支援担当者会議 ・みよしまつり花火鑑賞会	・実施 ・中止 ・中止	・利用者体重測定（ユニット毎） ・中堅職員医療研修 ・福祉医療職ネットワーク会議 ・三芳町施設連絡協議会 ・無料歯科相談 ・創作リハビリ、個別リハビリ ・医療機関での研修（看護師）	・実施 ・実施（随時） ・未開催 ・不参加 ・新規入所者で希望者のみ （随時） ・実施 ・未実施	
10月	・ユニット活動 ・カラオケ大会 ・身障協外出交流レク ・ふれあいピック ・文化芸術作品展 ・避難訓練、消火訓練	・実施 ・中止 ・中止 ・不参加 ・実施 ・実施	・感染症対策（予防接種等） ・登録研修機関 （喀痰吸引等研修） ・創作リハビリ、個別リハビリ ・医療機関での研修（看護師）	・実施 ・実施 ・実施 ・未実施	
11月	・ユニット活動 ・身障協文化作品展 ・福祉まつり参加	・実施 ・中止 ・中止	・利用者体重測定（ユニット毎） ・登録研修機関 （喀痰吸引等研修） ・三芳町施設連絡協議会 ・創作リハビリ、個別リハビリ ・医療機関での研修（看護師） ・インフルエンザ予防接種	・実施 ・実施 ・不参加 ・実施 ・未実施 ・実施	
12月	・ユニット活動 ・クリスマス会 ・大掃除 ・ゆず湯 ・三者面談	・実施 ・実施 ・実施 ・実施 ・中止	・利用者健康診断 ・福祉医療職ネットワーク会議 ・創作リハビリ、個別リハビリ	・2月～3月に実施 ・未開催 ・実施	
1月	・ユニット活動 ・身障協支援担当者会議 ・餅つき ・三者面談	・実施 ・延期 ・中止 ・中止	・利用者体重測定（ユニット毎） ・三芳町施設連絡協議会 ・創作リハビリ、個別リハビリ ・職員健康診断	・実施 ・不参加 ・実施 ・2月～3月に実施	
2月	・ユニット活動 ・節分豆まき ・三者面談	・実施 ・中止 ・中止	・創作リハビリ、個別リハビリ	・実施	
3月	・ユニット活動 ・身障協ゲーム交流会 ・身障協サーブ研究発表会 ・応急手当講習 ・三者面談	・実施 ・中止 ・中止 ・延期 ・中止	・利用者体重測定（ユニット毎） ・福祉医療職ネットワーク会議 ・三芳町施設連絡協議会 ・創作リハビリ、個別リハビリ	・実施 ・未開催 ・不参加 ・実施	

	かしの木ケアセンター		生活介護 ころす	
	栄養係		通所支援係	
	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト 昭和の日(特別食) 選択食 リクエスト食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト(25日) 昭和の日(特別食29日) 選択食(6.13.19.21.25.26.29日) リクエスト食(4.15.19.21.25.29日) かしの木カレー(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 ころす広報発行 イベント入浴 イベント販売 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定実施 広報誌未発行 イベント入浴実施(桜湯:28~30日) イベント販売未実施
5月	<ul style="list-style-type: none"> こどもの日(特別食) パンセレクト 母の日(特別食) リクエスト食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> こどもの日(特別食5日) パンセレクト(27日) 母の日(特別食なし) リクエスト食(10.11.16.18.21.27.30日) 選択食(11.16.18.24.25.26.27日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 イベント入浴 イベント販売 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定実施 集団活動実施(ポーチづくり:23~6/1) イベント入浴実施(菖蒲湯:5~7日) イベント販売未実施
6月	<ul style="list-style-type: none"> かしの木開所記念日献立(特別食) パンセレクト 父の日(特別食) 選択食 リクエスト食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> かしの木開所記念日献立(特別食3日) パンセレクト(28日) 父の日(特別食19日) 選択食(1.3.8.15.17.20..26.28日) リクエスト食(1.5.9.10.16.17.19.20.21.23.25.27日) かしの木カレー(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 ころす広報発行 イベント入浴 イベント販売 夜間想定避難訓練、消火訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定実施 広報未発行 イベント入浴実施(ジャスミン茶湯:23~25日) イベント販売未実施 日中火災避難訓練実施(27日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト 七夕献立(特別食) 土用の丑の日選択食 リクエスト食 選択食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト(29日) 土用の丑の日選択食(22日) リクエスト食(7.14.15.17.18.20.24日) 選択食(8.12.13.22.24.25.29日) かしの木カレー(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 イベント入浴 イベント販売 応急手当講習 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定実施 集団活動実施(起き上がりこぼし:25~30日) イベント入浴実施(レモン湯:28~30日) イベント販売未実施 応急手当講習未実施
8月	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト 山の日(8日特別食) 選択食 リクエスト食 	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト(26日) 選択食(5.12.16.23.26.27.30日) リクエスト食(1.5.6.10.11.14.15.17.18.29.31日) かしの木カレー(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 ころす広報発行 イベント入浴 地震想定避難訓練、消火訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定実施 広報未発行 イベント入浴実施(ミント湯:25~27日) 地震想定避難訓練、消火訓練未実施(11月予定)
9月	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト 敬老の日(特別食) 秋分の日(特別食) めぐみ祭 リクエスト食 選択食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト(27日) 敬老の日(特別食19日) 秋分の日(特別食23日) めぐみ祭(28日) リクエスト食(4.5.8.10.12.14.16.17.18.19.26.30日) 選択食(8.12.14.20.21.27.28日) かしの木カレー(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 イベント入浴 めぐみ祭販売 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定実施 集団活動未実施(10月予定) イベント入浴実施(カボス湯:22~24日) めぐみ祭販売実施
10月	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト 選択食 ハロウィン(特別食) リクエスト食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト(20日) リクエスト食(1.6.11.19.31日) ハロウィン(特別食31日) 選択食(5.11.13.17.20.27.28日) かしの木カレー(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 ころす広報発行 イベント入浴 イベント販売 文化芸術作品展 避難訓練、消火訓練 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 文化の日(特別食) パンセレクト 勤労感謝の日(特別食) 選択食 リクエスト食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> 文化の日(特別食3日) パンセレクト(25日) 勤労感謝の日(特別食23日) 選択食(3.7.10.24.25.29日) リクエスト食(1.3.4.10.12.23.24.30日) かしの木カレー(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 イベント入浴 福祉まつり販売 身障協文化作品展 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動実施(ハーバリウム:24~29日)
12月	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト クリスマス(特別食) 年越しそば(特別食) リクエスト食 選択食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> パンセレクト(27日) クリスマス(特別食18.20日) 年越しそば(特別食31日) リクエスト食(2.3.7.9.12.13.15.18.19.20.22.25.27日) 選択食(2.8.18.19.22.27.28日) かしの木カレー(21日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 ころす広報発行 イベント入浴 クリスマス会 三者面談 大掃除 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> おせち料理(特別食) パンセレクト 七草粥(特別食) 成人の日(特別食) 選択食 リクエスト食 餅つき かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> おせち料理(特別食1日) パンセレクト(27日) 七草粥(特別食7日) 選択食(4.17.20.21.24.27.30日) リクエスト食(1.2.3.4.10.11.13.14.16.17.25.27.28.30日) かしの木カレー(23日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 イベント入浴 三者面談 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> 節分(特別食) パンセレクト バレンタインデー(特別食) 選択食 リクエスト食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> 節分(特別食3日) パンセレクト(21日) バレンタインデー(特別食14日) 選択食(4.14.17.18.21.23.26日) リクエスト食(2.4.6.7.9.10.14.17.18.21.23.25.28日) かしの木カレー(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 ころす広報発行 イベント入浴 イベント販売 三者面談 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭り(特別食) パンセレクト 春分の日(特別食) リクエスト食 選択食 かしの木カレー 	<ul style="list-style-type: none"> ひな祭り(特別食3日) パンセレクト(24日) ホワイトデー(特別食14日) リクエスト食(1.3.6.10.13.15.18.21.27.28.30日) 選択食(7.10.14.24.25.29日) かしの木カレー(22日) 	<ul style="list-style-type: none"> 体重測定 集団活動 イベント入浴 三者面談 応急手当講習 ふれあいコンサート 	

	地域生活サポートセンターらいと		相談支援センター かしの木	
	地域生活支援係		相談支援係	
	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・三芳町委託相談共有会議（26日） ・相談支援センター会議（19日）
5月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・相談支援センター会議（17日） ・業務改善会議（12日） ・三芳町委託相談共有会議（24日）
6月	・地域生活サポートセンター会議 ・障害特性の研修参加（1名）	・未実施 ・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・業務改善会議（13日） ・相談支援センター会議（21日） ・三芳町地域ケア検討会（8日） ・三芳町委託相談共有会議（28日） ・精神保健福祉センター研修（26日） ・精神保健個別技術研修会（6日） ・お家に帰ろうプロジェクト（29日）
7月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・業務改善会議（5日） ・相談支援センター会議（19日） ・三芳町地域ケア検討会（13日） ・三芳町委託相談共有会議（26日） ・精神保健福祉センター研修（3日）（14日）
8月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・業務改善会議（7日） ・相談支援センター会議（19日） ・三芳町地域ケア検討会（10日）
9月	・地域生活サポートセンター会議 ・障害特性の研修参加（1名）	・未実施 ・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・三芳町地域ケア検討会（12日） ・お家に帰ろうプロジェクト（28日） ・埼玉県発達障害者支援センター研修（22日） ・地域精神保健医療福祉推進会議（22日） ・西部ブロック会議（26日）
10月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・相談支援センター会議（14日） ・三芳町地域ケア検討会（9日） ・三芳町委託相談共有会議（25日）
11月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・アウトリーチ事業評価委員会（1日） ・三芳町委託相談共有会議（22日） ・相談支援センター会議（18日）
12月	・地域生活サポートセンター会議	・未実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・お家に帰ろうプロジェクト（21日） ・地域精神保健医療福祉推進会議（14日） ・ひきこもり支援者連絡会（1日） ・相談支援センター会議（21日） ・三芳町地域ケア検討会（14日）
1月	・地域生活サポートセンター会議 ・障害特性の研修参加（1名）	・未実施 ・自閉症のオンライン研修に参加	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・三芳町自立支援協議会（児童）（17日） ・三芳町委託相談共有会議（24日） ・業務改善会議（11日） ・相談支援センター会議（31日）
2月	・地域生活サポートセンター会議 ・職員面談	・未実施 ・実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・ひきこもり支援者連絡会（21日） ・朝霞保健所管轄相談支援専門員研修（16日） ・三芳町自立支援協議会（児童）（21日） ・三芳町委託相談共有会議（28日） ・三芳町地域ケア検討会（8日）
3月	・地域生活サポートセンター会議 ・職員面談	・未実施 ・実施	・三芳町自立支援協議会（就労・相談・児童） ・相談支援センター会議 ・三芳町地域ケア検討会 ・三芳町委託相談共有会議	・お家に帰ろうプロジェクト（22日） ・相談支援現任者研修（23日） ・発達障がい者基礎研修（23日） ・ゲートキーパー研修（17日） ・西部ブロック会議（20日） ・三芳町自立支援協議会（就労）（23日） ・三芳町委託相談共有会議（28日）

	すてつぱ		いっぼ	
	グループホーム係		グループホーム係	
	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	・GH 合同会議 ・グループ SST	・実施 (15日) ・個別にて実施	・GH 合同会議	・実施 (15日)
5月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・利用者企画行事 ・交通安全教室 ・三者面談	・実施 (6日) ・個別にて実施 ・未実施 ・実施 (31日) ・未実施	・GH 合同会議 ・ゴミゼロ ・グループ SST	・実施 (6日) ・未実施 ・個別にて実施
6月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・SST 研修会 ・三者面談	・実施 (3日) ・個別にて実施 ・不参加 ・いっぼ 6 月実施 すてつぱ 7 月～実施	・GH 合同会議 ・避難訓練 ・消防設備点検 ・個別外出①	・実施 (3日) ・未実施 ・実施 ・未実施
7月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・映画鑑賞会 ・消防設備点検	・実施 (1日) ・個別にて実施 ・未実施 ・実施 (7日)	・GH 合同会議 ・おおいまつり ・グラウンドゴルフ大会 ・グループ SST	・実施 (1日) ・未実施 ・未実施 ・個別にて実施
8月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・利用者企画行事	・実施 (5日) ・個別にて実施 ・未実施	・GH 合同会議 ・町内会納涼祭 ・個別外出②	・実施 (5日) ・未実施 ・未実施
9月	・みよいまつりへの出店 ・避難訓練 ・グループ SST ・GH 合同会議	・みよいまつりが中止のため未実施 ・10 月に延期 ・個別にて実施 ・実施 (9日)	・GH 合同会議 ・ふじみ野市総合防災訓練 ・ふれあいピクニック秋季大会 ・バーベキュー ・グループ SST	・実施 (9日) ・未実施 ・未実施 ・未実施 ・個別にて実施
10月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・避難訓練	・実施 (書面開催) ・個別にて実施 ・未実施 (27日)	・GH 合同会議 ・ふれあいスポーツ大会 ・市民フェスティバル ・個別外出③	・実施 (6日) ・未実施 ・未実施 ・未実施
11月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・利用者企画行事 ・避難訓練	・実施 (書面開催) ・未実施 (個別 SST のみ実施) ・未実施 ・未実施 (3 月に延期)	・GH 合同会議 ・家族懇親会 ・グループ SST	・実施 (書面開催) ・未実施 ・個別にて実施
12月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・大掃除	・実施 (書面開催) ・個別にて実施 ・実施 (日にちを決めず分散して実施)	・GH 合同会議 ・ゴミゼロ	・実施 (書面開催) ・個別にて実施
1月	・GH 合同会議 ・グループ SST	・実施 (書面開催) ・個別にて実施	・新年会 ・映画上映会	・未実施 ・未実施
2月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・利用者企画行事	・実施 (10日) ・個別にて実施 ・未実施	・GH 合同会議 ・三者面談 ・町内会防災訓練	・実施 (10日) ・未実施 ・未実施
3月	・GH 合同会議 ・グループ SST ・避難訓練	・実施 (14日) ・個別にて実施 ・実施 (27 日)	・GH 合同会議 ・三者面談 ・避難訓練 ・グループ SST	・実施 (14日) ・未実施 ・実施 ・個別にて実施
備考	・発達障害福祉協会行事、 研修会への参加 (随時) ・SST 関連の研修への参加		・GH 運営に関わる研修 (随時) ・職員教育に関わる研修 (随時)	

	のびる作業所			
	就労支援係		就労生活介護係	
	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	・クリーニング組合支部会議	・中止	・花見 ・映画上映会	・実施(代替イースター27日) ・実施(13日)
5月	・クリーニング組合支部会議 ・調理支援 ・栄養座学 ・交通安全教室 ・エレベーター/ボイラー点検	・実施(7日) ・未実施 ・未実施 ・実施(31日) ・実施	・交通安全教室 ・共同制作物作成 ・映画上映会	・実施(31日) ・実施(24日) ・実施 (代替鯉のぼりイベント11日)
6月	・クリーニング組合支部会議 ・避難訓練、消火訓練	・実施(4日) ・未実施(7月へ延期)	・避難訓練、消火訓練 ・映画上映会	・未実施(7月へ延期) ・実施(15日)
7月	・クリーニング組合支部会議 ・調理支援 ・クリーニング工場見学会 ・健康診断 ・消防設備点検 ・避難訓練、消火訓練	・実施(2日) ・未実施 ・実施(16日) ・実施 ・実施 ・実施(5日)	・七イベント ・映画上映会 ・避難訓練、消火訓練	・実施(6日) ・実施(20日) ・実施(5日)
8月	・クリーニング組合支部会議	・実施(6日)	・映画鑑賞会 ・映画上映会	・実施(代替夏祭り31日) ・実施(17日)
9月	・クリーニング組合支部会議 ・調理支援 ・クリーニング師準備講習会	・中止 ・未実施 ・実施(9日)	・誕生日会 ・映画上映会	・実施(21日) ・実施(14日)
10月	・クリーニング組合支部会議 ・交通安全教室 ・研修旅行	・実施(1日) ・11月へ延期 ・未実施	・交通安全教室 ・ハロウィンパーティー ・映画上映会	・11月へ延期 ・実施(26日) ・実施(12日)
11月	・クリーニング組合支部会議 ・調理支援 ・クリーニング師試験 ・研修旅行 ・交通安全教室 ・避難訓練、消火訓練	・実施(5日) ・未実施 ・未実施 ・実施(7日) ・実施(1日)	・福祉まつり文化作品展へ出展 ・秋の遠足 ・映画上映会 ・避難訓練、消火訓練 ・交通安全教室	・未実施 ・未実施、代替昼食会 (28日実施) ・実施(23日) ・実施(1日) ・実施(7日)
12月	・クリーニング組合支部会議 ・避難訓練、消火訓練 ・大掃除 ・ワックス清掃	・実施(3日) ・11月に実施 ・実施(10日) ・未実施	・避難訓練、消火訓練 ・大掃除 ・クリスマス会 ・映画上映会 ・年越しそばイベント	・11月に実施 ・実施(10日) ・実施(21日) ・実施(28日) ・実施(30日)
1月	・クリーニング組合支部会議 ・調理支援 ・消防設備点検 ・ボイラー点検	・実施(7日) ・未実施 ・実施(12日) ・実施(17日)	・新年会 ・映画上映会	・未実施、代替年越しそば (12月実施) 実施(18日)
2月	・クリーニング組合支部会議 ・スキルアップ支援(施設外)	・実施(4日) ・未実施	・誕生日会 ・映画上映会	・実施(27日) ・実施(8日)
3月	・クリーニング組合支部会議 ・調理支援	・未実施 ・未実施	・映画上映会 ・花見	・実施(15日) ・実施(22日)
備考	・地下水膜ろ過システム点検 毎月 ・電気設備点検 3回/年 ・昇降機定期検査 1回/年			

		危機管理委員会			
		事故防止部会	権利擁護防止部会	防災・防犯部会	安全衛生部会
		実績	実績	実績	実績
4月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	会議なし	第1回(22日) ・年間計画の確認 ・今年度課題の確認 ・ap-systemの不具合について検討 ・虐待防止マニュアルの見直しについて	第1回会議書面会議 ・年間活動 ・防犯訓練 ・次年度からの引継ぎ ・設備班、訓練班の検討事項	第1回(20日) ・年間計画の確認 ・安全衛生方針の確認 ・労災・通勤災害なし ・特定行為：問題なし
5月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	会議なし	第2回(27日) ・グレーゾーン研修について ・自己評価表について ・虐待防止マニュアルの見直しについて	第2回会議(9日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し	第2回(18日) ・河野先生より 「下肢静脈瘤」について ・労災なし・通勤災害1件 ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック課題抽出
6月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	第1回会議 23日 ・年間活動計画について ・事故検討 ・ヒヤリハット分析 ・服薬事故防止月間についての検討 ・ヒヤリハット月間についての検討	第3回(24日) ・グレーゾーン研修について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルの見直しについて ・身障協 「虐待ゼロへの誓い」について	第3回会議(6日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・防火管理者講習1名受講(20日~21日)	第3回(15日) ・河野先生より 「白癩の症状と治療法」について ・労災1件・通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェックについて
7月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日~10日 服薬事故ゼロ週間 第2回会議 22日会議 ・事故検討 ・ヒヤリハット分析 ・各部署ごとのヒヤリハットの取り組み検討	第4回(22日) ・グレーゾーン研修について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルの見直しについて ・ap-systemについて ・身障協 「虐待ゼロへの誓い」について ・グレーゾーン研修実施 ・虐待防止WEEK実施	第4回会議(4日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について ・日中火災想定避難訓練実施	第4回20日 ・河野先生より 「慢性閉塞性肺疾患」について ・労災1件、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェックについて ・健康宣言への取り組み
8月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日~10日 服薬事故ゼロ週間 会議なし	第5回(26日) ・グレーゾーン研修について ・自己評価表について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルの見直しについて ・ap-systemについて ・身障協 「虐待ゼロへの誓い」について ・グレーゾーン研修実施	第5回会議(8日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について ・かしの木入り口付近の電柱移設について	第5回24日 ・河野先生より 「新型タバコ(加熱式・電子)かもたらず健康被害」 ・労災なし、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェックについて ・ハラスメント窓口設置について ・健康宣言について
9月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日~10日 服薬事故ゼロ週間 第3回会議 23日 ・服薬事故ゼロ週間の振り返り ・事故検討 ・ヒヤリハット分析	第6回(30日) ・グレーゾーン研修について ・自己評価表について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルの見直しについて ・ap-systemについて ・虐待防止マニュアルについて ・自己評価表の実施	第6回会議(5日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について ・かしの木入り口付近の電柱移設について	第6回24日 ・河野先生より 「気象病について」 ・労災なし、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェックについて ・健康宣言について ・敷地内交通事故について

	危機管理委員会				
		事故防止部会	権利擁護防止部会	防災・防犯部会	安全衛生部会
	実績	実績	実績	実績	実績
10月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日～10日 服薬事故ゼロ週間 会議なし	第7回(28日) ・グレーゾーン研修について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルについて ・グレーゾーン研修実施 ・虐待防止WEEK実施	第7回会議(3日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・非常災害対策計画について検討 ・かしの木入り口付近の電柱移設について ・すてっぷ日中火災想定避難訓練実施	第7回(19日) ・河野先生より「腰痛とは」 ・労災1件、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック実施について ・健康宣言について
11月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて ・事故案件について報告(くろす) ・虐待報告案件について報告(かしの木)	◎1日～10日 服薬事故ゼロ週間 第4回会議(18日) ・事故検討・ヒヤリハット分析 ・事故防止に関しての全体研修について検討 ・1、2月KYT月間についての検討	第8回(25日) ・グレーゾーン研修について ・自己評価表について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルについて	第8回会議(7日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・夜間火災想定避難訓練実施 ・のびる日中地震想定避難訓練	第8回(16日) ・河野先生 インフルエンザ予防接種の不在 ・労災1件、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェックについて ・健康宣言について ・栄養だよりの配布について
12月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日～10日 服薬事故ゼロ週間 会議なし	第9回(23日) ・グレーゾーン研修について ・自己評価表について ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止マニュアルについて ・グレーゾーン研修実施 ・虐待防止チェックリスト実施	第9回会議(5日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し	第9回(21日) ・河野先生 「トリアージについて」 ・労災3件、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック提出率について ・健康宣言について
1月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日～10日 服薬事故ゼロ週間 第5回会議(27日) ・事故検討・ヒヤリハット分析 ・KYT月間について 各部署の報告	第10回(27日) ・グレーゾーン研修について ・虐待防止WEEKについて	クラスター発生により中止	第10回(18日) ・河野先生「大腸」 ・労災なし、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェックの結果について ・ストレスチェック職場分析納品 ・健康宣言について
2月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日～10日 服薬事故ゼロ週間 会議なし	書面会議 ・虐待防止WEEKについて ・虐待防止チェックリスト実施	第11回会議(6日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・防災・防犯研修について検討 ・防犯訓練実施	第11回(15日) ・河野先生 「口腔アレルギー症候群について」 ・労災3件、通勤災害なし ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック結果の分析について ・健康宣言について
3月	経営会議内での会議実施 ・新型コロナウイルスについて	◎1日～10日 服薬事故ゼロ週間 第6回会議(紙会議) ・事故検討・ヒヤリハット分析 ・KYT月間について 各部署報告	第12回(24日) ・グレーゾーン研修について ・虐待防止WEEKについて	第12回会議(6日) ・各部署活動報告 ・防犯訓練について ・各事業所避難訓練について ・設備班、訓練班の検討事項 ・BCPマニュアルの見直し ・防災・防犯研修について検討 ・すてっぷ夜間火災想定避難訓練実施 ・いっぽ日中火災想定避難訓練実施 ・いっぽ夜間火災想定避難訓練実施	第12回(15日) ・河野先生「花粉症について」 ・労災なし、通勤災害2件 ・特定行為：問題なし ・ストレスチェック結果を受けて、各事業所のストレス要因分析 ・健康宣言について

	人材育成委員会	行事・広報委員会	品質向上委員会	苦情解決委員会	個人情報保護委員会
	実績	実績	実績	実績	実績
4月	会議なし	めぐみの森発行(10日) 会議なし	会議：なし	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
5月	会議実施 ・SWOT分析説明 ・新人研修、R養成研修 進捗確認、実施内容検討	第1回会議(14日) 書面での開催 ・めぐみ祭について (各役割より進捗状況について) ・大掃除について ・めぐみの森について ・フェイスブックについて	第1回会議(14日) 《第三者評価》 GH対象 《CS》 2019年度の結果を 踏まえた取り組みの実施 《ES》 ESに関する調査の整理 公表準備	経営会議内での会議実施 ・要綱の変更について	経営会議内での会議実施
6月	会議実施 ・SWOT分析説明	第2回会議(14日) ・めぐみ祭について めぐみ祭中止 ・大掃除について ・めぐみの森について ・フェイスブックについて	第2回会議(3日) 《第三者評価》 現地にて調整中 《CS》 マニフェストの進捗確認 2019年度結果の候補数準備 《ES》 ESに関する調査報告	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
7月	会議実施 ・SWOT分析 ・新人研修、R養成研修 進捗確認、実施内容検討 ・外部研修計画検討 ・ICF勉強会	第3回会議(9日) ・めぐみ祭について (代替行事について検討) ・大掃除について (法人行事としては中止) ・めぐみの森について ・フェイスブックについて	第3回会議(1日) 《第三者評価》 現地にて調整中 《CS》 マニフェストの進捗確認 《ES》公表準備	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
8月	会議実施 ・SWOT分析 ・新人研修、R養成研修 進捗確認、実施内容検討 ・外部研修計画検討 ・ICF勉強会	めぐみの森発行(13日) 第4回会議(8日) ・めぐみ祭について (代替行事について検討) ・大掃除について (法人行事としては中止) ・めぐみの森について ・フェイスブックについて	第4回会議(5日) 《第三者評価》 現地にて調整中 《CS》 マニフェストの進捗確認 マニフェストが周知されてい るか調査 《ES》 進捗確認	経営会議内での会議実施 ・苦情公表の方法について	経営会議内での会議実施
9月	会議実施 ・SWOT分析 ・新人研修、R養成研修 進捗確認、実施内容検討 ・外部研修計画検討	第5回会議(9日) ・めぐみ祭について (代替行事について) ・大掃除について (法人行事としては中止) ・めぐみの森について ・フェイスブックについて	第5回会議(2日) 《第三者評価》 現地にて調整中 《CS》 マニフェストの進捗確認 《ES》 進捗確認アンケート見直し	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施

	人材育成委員会	行事・広報委員会	品質向上委員会	苦情解決委員会	個人情報保護委員会
	実績	実績	実績	実績	実績
10月		第6回会議(14日) ・次年度めぐみ祭について 検討開始 ・大掃除について (法人行事としては中止) ・文化作品展について ・めぐみの森について ・SNSについて	第6回会議(8日) 《第三者評価》 調査終了、結果待ち 《CS》 マニフェストの進捗確認。 《ES》 アンケート作成	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
11月	会議実施 ・SWOT分析 ・新人研修、R養成研修進捗 ・外部研修計画検討 ・ICF勉強会	第7回会議(12日) ・次年度めぐみ祭について 検討開始 ・大掃除について (各事業所ごとに実施) ・めぐみの森について ・SNSについて	第7回会議(8日) 《第三者評価》 調査終了、結果待ち 《CS》 マニフェストの進捗確認 アンケート実施 《ES》 アンケート作成、実施	経営会議内での会議実施 ・苦情報告(かしの木SS)	経営会議内での会議実施
12月		第8回会議(9日) ・次年度めぐみ祭について 検討開始 ・大掃除について (各事業所ごとに実施) ・めぐみの森について ・SNSについて	第8回会議(2日) 《第三者評価》 調査終了、結果待ち 《CS》 マニフェストの進捗確認 アンケート実施 《ES》 アンケート作成、実施	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
1月	会議実施 ・新人研修、R養成研修進捗 ・中堅研修内容検討	第9回会議(13日) ・次年度めぐみ祭について ・大掃除について (各事業所ごとに実施) ・めぐみの森発行 ・SNSについて	第9回会議(6日) 《第三者評価》 結果確認 《CS》 マニフェストの進捗確認 アンケート実施 《ES》 アンケート作成、実施	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
2月	会議実施 ・新人研修、R養成研修進捗 ・中堅研修内容検討	第10回会議(10日) ・次年度めぐみ祭について ・大掃除について (各事業所ごとに実施) ・めぐみの森について ・SNSについて	第10回会議(3日) 《第三者評価》 結果確認 《CS》 マニフェストの進捗確認 アンケート実施 《ES》 アンケート集計、分析	経営会議内での会議実施	経営会議内での会議実施
3月	会議実施 ・新人研修、R養成研修進捗 ・中堅研修内容検討	第11回会議(10日) ・次年度めぐみ祭について ・めぐみの森について ・SNSについて	第11回 《第三者評価》 公表予定 《CS》 マニフェストの進捗確認 アンケート集計、分析 《ES》 アンケート結果配布	経営会議内での会議実施 ・苦情報告(かしの木SS)	経営会議内での会議実施

感染症対策委員会

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・「感染症対策委員会要綱」の確認 ・年度目標および年間計画立案 ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPの完成度の確認(各事業所の進捗) ・「事業継続支援チーム(仮称)」発足の確認(リーダー選出、訓練内容など) ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・マスクの取り扱い方法の確認および各部署への周知(厚労省マニュアルP8) 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・チェックリストから出た問題への取り組み報告 ・インフルエンザ予防接種実施時期報告
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練)の報告 ・感染経路の遮断について(厚労省マニュアルP5・6) 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・新型コロナ・インフルエンザや胃腸炎の感染予防対策強化 ・インフルエンザ予防接種日程伝達
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・感染経路の遮断 ・手洗いの方法について(厚労省マニュアルP7) 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・インフルエンザ予防接種実施状況報告 ・新型コロナなど感染予防対策強化継続
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・発生時の対応について(厚労省マニュアルP13) 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・各部署、BCPの再確認や感染予防対策の周知強化をしましょう。 ⇒職員がおこなう感染予防策チェックリストの活用
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・厚労省HP「新型コロナウイルス感染の「いま」に関する11の知識」を情報提供 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・各事業所でBCP見直し
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・感染拡大防止チェックリストをチェックし課題抽出 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症発生時のBCPに沿った取り組み状況確認 ・研修として動画視聴 ・感染対策実施訓練(シミュレーション訓練) ・各事業所でBCP見直し

2022年度 事故防止部会 事業報告

2022年度の事故防止部会では、定例部会を毎月1回開催し事故防止に資するための検討と取り組みを実施した。

取り組み内容は、職員研修、ヒヤリハット報告の促進、発生事故の検証を行っている。

職員研修では8名の部会員がオンラインによるリスクマネジメント研修を受講し、インシデント発生時の報告の内容、仕組みを見直すことができたことは評価できる。

前年に続き、ヒヤリハット月間を年3回実施し、重大事故に至る前の危険因子について職員1人1人が意識できるよう取り組みをおこなった。結果は年間通して、骨折等の重大事故は0件であった為、継続性が必要と判断している。一方、事故件数は251件と昨年比で48件増となっており、同様の事故が複数件発生していることから、的確な要因分析、有効な再発防止策を講じられていないケースがあることも明らかとなり、次年度の課題となる。これまで発生事故における部会での検証は、骨折等の重大事故若しくは各事業所からの検証依頼があったケースに限定しておこなってきたが、次年度は、同様の事故が発生したケースについても翌月の部会で検証、および対策の経過を確認していくこととしている。

2022年度 苦情解決委員会 事業報告

苦情解決委員会では毎月1回経営会議内で委員会を実施し、理事長、各局長、各施設長を含めた委員によって各事業所の苦情対応の進捗確認を実施し、著しいものに対しては委員会が解決に向けて指導している。

2022年は3件の苦情を受付けた。苦情を受付けた事業所はすてっぷ（2件）、相談支援センターかしの木（1件）となっている。

すてっぷの苦情については、すてっぷの環境整備及び職員の対応について、相談支援センターかしの木の苦情については、職員の電話対応に関する内容であった。それぞれ臨時苦情解決委員会を招集し、対応を検討、事業所内で解決に至った。

● 2022年度 ユニット別年次報告

【上半期】

月日	大空（はばたき）ユニット		太陽（ひだまり）ユニット		花実（みのり）ユニット	
	事業計画	実績	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	・個別活動	・実施	・春イベント ・個別活動	・未施 ・実施	・リハビリ	・実施
5月	・個別活動	・実施	・個別活動	・実施	・リハビリ ・春イベント	・実施 ・延期
6月	・個別活動	・実施	・個別活動	・実施	・ポッチャ大会 ・リハビリ	・未実施 ・実施
7月	・個別活動	・実施	・夏イベント ・個別活動	・未実施 ・実施	・リハビリ	・実施
8月	・日帰り旅行下見 ・夏イベント	・未実施 ・8/30 実施	・個別活動	・実施	・夏イベント ・リハビリ	・9月に実施 ・実施
9月	・一泊旅行① ・めぐみ祭り物販	・未実施 ・未実施	・個別活動	・実施	・リハビリ	・実施
上期の計画	・内勤用品 ・お茶会費 ・活動予備費 ・創作活動	・未購入 ・未購入 ・未購入 ・未購入	・お茶会費 ・活動予備費 ・搜索活動費 ・スヌーズレン機材 ・アロマ	・未購入 ・未購入 ・未購入 ・未購入 ・未購入	・リハビリ用品 ・リハビリ消耗品 ・活動室整備費 ・お茶会費 ・活動予備費	・未購入 ・未購入 ・未購入 ・未購入 ・未購入

【下半期】

月日	大空（はばたき）ユニット		太陽（ひだまり）ユニット		花実（みのり）ユニット	
	事業計画	実績	事業計画	実績	事業計画	実績
10月	・日帰り旅行② ・個別活動	・未実施 ・実施	・秋イベント ・個別活動	・未実施 ・実施	・リハビリ ・秋イベント	・実施 ・11月に実施
11月	・福祉まつり ・個別活動	・未実施 ・実施	・個別活動	・実施	・リハビリ	・実施
12月	・個別活動	・実施	・個別活動	・実施	・リハビリ ・クリスマス会	・実施 ・実施
1月	・個別活動	・実施	・年始イベント ・個別活動	・未実施 ・実施	・リハビリ	・実施
2月	・個別活動 ・お疲れ様会	・未実施 ・3月に実施	・個別活動	・実施	・バレンタインイベント ・リハビリ	・未実施 ・実施
3月	・個別活動	・実施	・個別活動	・実施	・リハビリ	・実施
下期の計画	・内勤用品 ・お茶会費 ・活動予備費 ・創作活動	・未購入 ・未購入 ・実施 ・実施	・お茶会費 ・活動予備費 ・創作活動費	・未購入 ・未実施 ・未購入	・リハビリ消耗品 ・活動室整備費 ・お茶会費 ・活動予備費 ・外出予備費	・未購入 ・未購入 ・購入 ・未購入 ・未実施

【上半期】

月日	虹色（なないろ）ユニット		全体（ss 他）	
	事業計画	実績	事業計画	実績
4月	・日替わりメニューによる活動	・実施	・生け花教室	・中止
5月	・春（新年度）イベント ・日替わりメニューによる活動	・5/23 実施 ・実施	・身障協支援担当者会議 ・身障協ゲーム交流会 ・しょうぶ湯 ・生け花教室	・6月に実施 ・中止 ・実施 ・中止
6月	・日替わりメニューによる活動	・実施	・身障協スポーツ交流会 ・生け花教室	・中止 ・中止
7月	・夏イベント ・日替わりメニューによる活動	・7/31 実施 ・実施	・七夕 ・三芳まつり協賛金 ・生け花教室	・イベント実施 ・中止 ・中止
8月	・夏イベント ・日替わりメニューによる活動	・8/29、9/7 実施 ・実施	・生け花教室	・中止
9月	・秋イベント ・日替わりメニューによる活動	・9/25 実施 ・実施	・身障協担当者会議 ・三芳町花火大会 ・生け花教室	・中止 ・中止 ・中止
上期の計画	・リラクゼーション、アロマ ・創作活動用品 ・お茶会費 ・イベント入浴	・未購入 ・未購入 ・未購入 ・購入済み	・SS 用備品購入 ・ナースコール修理代	・未購入 ・なし

【下半期】

月日	虹色（なないろ）ユニット		全体（ss 他）	
	事業計画	実績	事業計画	実績
10月	・秋イベント ・日替わりメニューによる活動	・実施	・身障協外出交流レク ・ふれあいピック ・カラオケ大会 ・文化芸術祭 ・生け花教室	・中止 ・不参加 ・未実施 ・実施 ・中止
11月	・日替わりメニューによる活動		・身障協文化作品展 ・福祉まつり ・生け花教室	・中止 ・中止 ・中止
12月	・忘年会 ・日替わりメニューによる活動	・実施	・クリスマス会 ・ゆず湯 ・生け花教室	・実施 ・実施 ・中止
1月	・年始イベント ・日替わりメニューによる活動	・未実施	・身障協担当者会議 ・餅つき ・生け花教室	・延期 ・中止 ・中止
2月	・日替わりメニューによる活動 ・外出活動費		・節分豆まき ・社会貢献活動 推進協議会会議 ・生け花教室	・中止 ・不参加 ・中止
3月	・春イベント ・日替わりメニューによる活動	・未実施	・身障協ゲーム交流会 ・身障協サービス研究発表会 ・生け花教室	・中止 ・中止 ・中止
下期の計画	・創作活動用品 ・お茶会費 ・イベント入浴 ・外出予備費	・未購入 ・購入 ・購入 ・未実施	・SS 用備品購入 ・ナースコール修理代	・購入 ・なし

2022年度決算報告

2022年度決算報告について

2022年度は新型コロナウイルス感染症への対応や対策は維持しながら、様々な方面での緩和に向けて取り組みました。しかし、2023年1月にかしの木での新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生してしまったため、職員体制の整備や感染症対策用品の追加購入等が必要となりました。しかしながら、感染症対策チームのクラスター想定訓練が奏を功し、比較的短期間で終息を迎えることができました。

事業計画としては、第3期3か年計画の1年目として、前年度からの取組を継続しています。

これらを踏まえ、決算内容を報告いたします。

事業活動収入は717,880,772円で、対予算2,858,772円増額、対前年19,188,446円増額という結果でした。主な要因はかしの木が新型コロナウイルスの影響があったものの、かかりまし経費の補助金収入があり、対前年7,757,675円増額でした。

人件費については、452,422,718円で、対予算4,159,282円減額、対前年25,589,885円増額という結果でした。概ね予算どおり執行することができました。

事業費は、102,564,135円、対予算1,964,865円減額、対前年7,816,745円増額であり、事務費は114,022,824円、対予算4,930,176円減額、対前年9,844,937円増額という結果でした。昨年度より引き続いての感染症対策用品品の購入は考慮しておりましたが、光熱費の高騰や物価高の影響により、非常に悩まされた1年でありました。

施設整備による収支は、施設整備等補助金収入で1,499,999円あり、施設整備借入金元金償還金支出で28,884,000円、固定資産取得支出で7,061,580円でした。主な購入品はガス立体自動炊飯器、かしの木1階・2階トイレエアコン、Microsoft365・OBC労務管理ソフトの購入となります。

その他の活動による収支は、長期貸付金回収として5,040,000円、退職給付引当資産取崩収入として18,983,040円でありました。支出は退職給付引当資産として5,261,120円でした。

当期資金収支差額は316,614円であり、対予算316,614円増額、対前年3,527,714円減額という結果でした。当期末支払資金残高は145,523,005円となります。事業活動計算書は当期活動増減差額が18,343,642円減、次期繰越活動増減差額が593,898,350円という結果でありました。

2022年度決算内訳

科目	予算執行状況
収入の部	事業活動収入計 717,880,772 円
	対予算 2,858,772 円減 対前年 16,752,446 円増
	対前年増減の要因
	増加要因（対前年）
	相談 1,320 千円増
	生活介護（かしの木） 2,145 千円増
	施設入所 3,840 千円増
	らいと 2,631 千円増
	グループホーム 3,554 千円増
	就労継続支援B型 6,784 千円増
	減少要因（対前年）
	短期入所 427 千円減
	くろす 1,639 千円減
	就労移行支援 1,036 千円減
	生活介護（のびる） 1,131 千円減
	処遇改善加算総額 50,284,298 円

科 目	予算執行状況
支出の部 人件費支出	人件費 452,422,718 円 対予算 4,159,282 円減 対前年 25,589,885 円増 対当初予算 4,232,718 円増 対予算・前年増減の要因 人員確保が難しかったため代替職員として派遣職員で対応したため今年度は対前年増となった。
事業費支出	事業費 102,564,135 円 対予算 1,964,865 円減 対前年 5,560,745 円増 対当初予算 2,821,135 円増 対予算・対前年増減の要因 水道光熱費 27,516,723 円 対予算 1,502,723 円増 対前年 7,499,898 円増 対当初予算 7,798,723 円増 給食費 20,296,969 円 対予算 289,969 円増 対前年 1,696,446 円増 対当初予算 589,969 円増 保健衛生費 1,769,518 円 対予算 111,165 円減 対前年 485,489 円減 対当初予算 215,482 円減 車両費 2,851,421 円 対予算 182,579 円減 対前年 716,734 円減 対当初予算 682,579 円減
事務費支出	事務費 114,022,824 円 対予算 4,930,176 円減 対前年 9,664,937 円増 対当初予算 1,604,824 円増 対予算・対前年増減の要因 外出等を控える傾向は続いているが、緩和を徐々に行ったことで控えていた修繕や業者の出入りが増加傾向にあった。また、研修がオンライン化したことで参加しやすくなり、対前年比で見ると増加となった。 旅費交通費 1,653,583 円 対予算 648,417 円減 対前年 1,187,767 円増 対当初予算 348,417 円減 研修研究費 2,112,828 円 対予算 89,172 円減 対前年 1,514,338 円増 対当初予算 610,828 円減 修繕費 10,757,617 円 対予算 46,383 円減 対前年 5,819,785 円増 対当初予算 4,453,617 円増 業務委託費 78,083,450 円 対予算 2,486,550 円減 対前年 3,353,200 円増 対当初予算 1,013,450 円増

科 目	予算執行状況
就労支援事業支出	<p>就労支援事業支出 30,367,758 円 (資金収支) 30,501,225 円 (活動収支)</p> <p>対前年 2,156,758 円増 対前年 6,428,337 円増</p> <p>対予算・対前年増減の要因 感染症対策を継続して行っており、作業の受け入れを止めることなく稼働(運営)できたことは評価できるが、光熱費高騰により支出に大きな影響を与えた。これにより収入減につながった。</p> <p>作業収入 26,488,746 円 対予算 441,254 円減 対前年 797,048 円増 収支差額 3,879,012 円減 (資金収支ベース) 4,012,479 円減 (活動収支ベース)</p> <p>※活動収支には減価償却費が含まれている。 減価償却費 年間 133,467 円 国庫補助金取崩額 年間 0 円</p>
設備整備等支出の部	<p>施設整備等収入 1,499,999 円 対予算 1 円減</p> <p>[主な内訳] IT 補助金 (Microsoft365・OBC 人事労務管理) 1,499,999 円</p> <p>施設整備等支出 35,945,580 円 対予算 3,961,580 円増</p> <p>[主な内訳] 設備資金借入金元金償還支出 28,884,000 円 ガス立体自動炊飯器 389,400 円 かしの木 1 階・2 階トイレエアコン 2,178,000 円 Microsoft365・OBC 労務管理ソフト 4,437,180 円</p>
その他活動収支出の部	<p>その他の活動収入 24,023,040 円 対予算 9,216,960 円</p> <p>[主な内訳] 長期貸付金回収収入 5,040,000 円 積立資金取崩収入 18,983,040 円</p> <p>その他の活動支出 5,261,120 円 対予算 1,593,880 円減</p> <p>[主な内訳] 退職給付引当金資産支出 5,261,120 円</p>

法人単位資金収支計算書

(自)令和04年04月01日 (至)令和05年03月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収入	就労支援事業収入	26,930,000	26,488,746	441,254		
	障害福祉サービス等事業収入	666,787,000	670,499,954	-3,712,954		
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	100,000	52,387	47,613		
	その他の事業収入	15,507,000	15,298,704	208,296		
	経常経費寄附金収入	805,000	805,000	0		
	受取利息配当金収入	4,000	1,415	2,585		
	その他の収入	4,889,000	4,734,566	154,434		
	事業活動収入計(1)	715,022,000	717,880,772	-2,858,772		
	事業活動による支出	人件費支出	456,582,000	452,422,718	4,159,282	
		事業費支出	104,529,000	102,564,135	1,964,865	
事務費支出		118,953,000	114,022,824	4,930,176		
就労支援事業支出		28,211,000	30,367,758	-2,156,758		
生活困窮者に対する相談支援事業支出		100,000	52,387	47,613		
支払利息支出		2,548,000	2,450,675	97,325		
事業活動支出計(2)		710,923,000	701,880,497	9,042,503		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,099,000	16,000,275	-11,901,275			
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	1,500,000	1,499,999	1		
	施設整備等収入計(4)	1,500,000	1,499,999	1		
	施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	28,884,000	28,884,000	0	
		固定資産取得支出	3,100,000	7,061,580	-3,961,580	
	施設整備等支出計(5)	31,984,000	35,945,580	-3,961,580		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-30,484,000	-34,445,581	3,961,581			
その他の活動による収入	長期貸付金回収収入	5,040,000	5,040,000	0		
	積立資金取崩収入	28,200,000	18,983,040	9,216,960		
	その他の活動収入計(7)	33,240,000	24,023,040	9,216,960		
	その他の活動による支出	積立資産支出	6,855,000	5,261,120	1,593,880	
その他の活動支出計(8)		6,855,000	5,261,120	1,593,880		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	26,385,000	18,761,920	7,623,080			
予備費支出(10)	0	-	0			
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	316,614	-316,614			
前期末支払資金残高(12)	145,523,005	145,523,005	0			
当期末支払資金残高(11)+(12)	145,523,005	145,839,619	-316,614			

法人単位事業活動計算書

(自)令和04年04月01日

(至)令和05年03月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	26,488,746	25,691,698	797,048
		障害福祉サービス等事業収益	670,499,954	651,118,857	19,381,097
		三芳町ふれあいセンター事業収益	15,298,704	15,298,704	0
		生活困窮者に対する相談支援事業収益	52,387	154,529	△102,142
		経常経費寄附金収益	805,000	3,070,000	△2,265,000
		サービス活動収益計(1)	713,144,791	695,333,788	17,811,003
	費用	人件費	455,924,738	429,958,873	25,965,865
		事業費	102,564,135	94,747,390	7,816,745
		事務費	114,022,824	104,177,887	9,844,937
		就労支援事業費用	30,501,225	24,072,885	6,428,340
		生活困窮者に対する相談支援事業費用	52,387	154,529	△102,142
		減価償却費	50,581,222	49,962,491	618,731
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△21,048,853	△22,321,978	1,273,125
	サービス活動費用計(2)	732,597,678	680,752,077	51,845,601	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△19,452,887	14,581,711	△34,034,598	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,590	1,658	△68
		その他のサービス活動外収益	4,758,331	3,356,880	1,401,451
		サービス活動外収益計(4)	4,759,921	3,358,538	1,401,383
	費用	支払利息	2,450,675	2,644,798	△194,123
		その他のサービス活動外費用	1,200,000	0	1,200,000
		サービス活動外費用計(5)	3,650,675	2,644,798	1,005,877
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,109,246	713,740	395,506	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△18,343,641	15,295,451	△33,639,092	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,499,999	6,245,800	△4,745,801
		特別収益計(8)	1,499,999	6,245,800	△4,745,801
	費用	固定資産売却損・処分損	1	0	1
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,499,999	6,324,634	△4,824,635
		特別費用計(9)	1,500,000	6,324,634	△4,824,634
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△1	△78,834	78,833	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△18,343,642	15,216,617	△33,560,259	
繰越活動増減の部		前期繰越活動増減差額(12)	595,041,992	587,445,375	7,596,617
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	576,698,350	602,661,992	△25,963,642
		その他の積立金取崩額(15)	17,200,000	0	17,200,000
		その他の積立金積立額(16)	0	△7,620,000	7,620,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	593,898,350	595,041,992	△1,143,642

法人単位貸借対照表

令和05年03月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	214,468,632	212,029,185	2,439,447	流動負債	97,513,013	95,390,180	2,122,833
現金預金	61,000,910	95,257,322	△34,256,412	その他の未払金	61,576,614	59,064,129	2,512,485
未収金	146,524,402	112,711,278	33,813,124	1年以内返済予定設備資金借入金	28,884,000	28,884,000	0
立替金	1,566,230	966,285	599,945	預り金	530,312	898	529,414
前払金	1,119,000	1,089,100	29,900	職員預り金	1,867,252	1,744,260	122,992
前払費用	548,090	70,200	477,890	仮受金	3,945,535	4,991,893	△1,046,358
仮払金	3,710,000	1,935,000	1,775,000	未払消費税等	709,300	705,000	4,300
固定資産	2,333,441,453	2,397,062,483	△63,621,030	固定負債	455,938,555	481,350,475	△25,411,920
基本財産	2,129,568,058	2,168,255,800	△38,687,742	設備資金借入金	358,114,275	386,998,275	△28,884,000
土地	1,317,597,382	1,317,597,382	0	長期運営資金借入金	60,000,000	60,000,000	0
建物	742,185,304	766,979,616	△24,794,312	退職給付引当金	37,824,280	34,352,200	3,472,080
建物付属	69,785,372	83,678,802	△13,893,430				
その他の固定資産	203,873,395	228,806,683	△24,933,288				
土地	23,330,000	23,330,000	0				
建物	4,666,359	4,845,015	△178,656				
建物付属設備	9,481,737	12,114,512	△2,632,775				
構築物	8,232,167	10,577,697	△2,345,530				
機械及び装置	109,013	208,087	△99,074				
車両運搬具	454,020	756,695	△302,675				
器具及び備品	17,282,843	18,280,895	△998,052	負債の部合計	553,451,568	576,740,655	△23,289,087
権利	5,956,532	6,522,252	△565,720	純資産の部			
ソフトウェア	11,924,814	9,627,420	2,297,394	基本金	1,023,991,616	1,023,991,616	0
長期貸付金	23,940,000	30,180,000	△6,240,000	国庫補助金等特別積立金	316,148,551	335,697,405	△19,548,854
退職給付引当資産	37,824,280	34,352,200	3,472,080	修繕積立金	60,420,000	76,000,000	△15,580,000
修繕積立資産	60,420,000	76,000,000	△15,580,000	設備整備積立金	0	1,620,000	△1,620,000
設備等整備積立資産	0	1,620,000	△1,620,000	次期繰越活動増減差額	593,898,350	595,041,992	△1,143,642
保証金	20,000	20,000	0	(うち当期活動増減差額)	△18,343,642	15,216,617	△33,560,259
車両リサイクル預託金	18,120	18,120	0				
その他の固定資産	213,510	353,790	△140,280				
				純資産の部合計	1,994,458,517	2,032,351,013	△37,892,496
資産の部合計	2,547,910,085	2,609,091,668	△61,181,583	負債及び純資産の部合計	2,547,910,085	2,609,091,668	△61,181,583

資金収支内訳表

(自)令和04年04月01日 (至)令和05年03月31日

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	合計	内部取引消去	法人合計		
事業活動による収入	就労支援事業収入	26,488,746	0	26,488,746	0	26,488,746	
	障害福祉サービス等事業収入	670,499,954	0	670,499,954	0	670,499,954	
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	52,387	0	52,387	0	52,387	
	その他の事業収入	0	15,298,704	15,298,704	0	15,298,704	
	経常経費寄附金収入	805,000	0	805,000	0	805,000	
	受取利息配当金収入	1,415	0	1,415	0	1,415	
	その他の収入	4,734,566	0	4,734,566	0	4,734,566	
	事業活動収入計(1)	702,582,068	15,298,704	717,880,772	0	717,880,772	
	事業活動による支出	人件費支出	451,942,718	480,000	452,422,718	0	452,422,718
		事業費支出	96,556,409	6,007,726	102,564,135	0	102,564,135
事務費支出		104,904,884	9,117,940	114,022,824	0	114,022,824	
就労支援事業支出		30,367,758	0	30,367,758	0	30,367,758	
生活困窮者に対する相談支援事業支出		52,387	0	52,387	0	52,387	
支払利息支出		2,450,675	0	2,450,675	0	2,450,675	
事業活動支出計(2)		686,274,831	15,605,666	701,880,497	0	701,880,497	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	16,307,237	-306,962	16,000,275	0	16,000,275		
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	1,499,999	0	1,499,999	0	1,499,999	
	施設整備等収入計(4)	1,499,999	0	1,499,999	0	1,499,999	
	施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	28,884,000	0	28,884,000	0	28,884,000
		固定資産取得支出	7,061,580	0	7,061,580	0	7,061,580
施設整備等支出計(5)	35,945,580	0	35,945,580	0	35,945,580		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-34,445,581	0	-34,445,581	0	-34,445,581		
その他の収入	長期貸付金回収収入	5,040,000	0	5,040,000	0	5,040,000	
	積立資金取崩収入	18,983,040	0	18,983,040	0	18,983,040	
	事業区分間繰入金収入	0	306,962	306,962	-306,962	0	
その他の活動収入計(7)	24,023,040	306,962	24,330,002	-306,962	24,023,040		
その他の活動による支出	積立資産支出	5,261,120	0	5,261,120	0	5,261,120	
	事業区分間繰入金支出	306,962	0	306,962	-306,962	0	
	その他の活動支出計(8)	5,568,082	0	5,568,082	-306,962	5,261,120	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	18,454,958	306,962	18,761,920	0	18,761,920		
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)	316,614	0	316,614	0	316,614		
前期末支払資金残高(12)	145,523,005	0	145,523,005	0	145,523,005		
当期末支払資金残高(11)+(12)	145,839,619	0	145,839,619	0	145,839,619		

社会福祉事業 事業区分資金収支内訳表

(自)令和04年04月01日 (至)令和05年03月31日

(単位：円)

勘定科目		法人本部(拠)	かしの木	すてっぷ(拠)	のびる(拠)	合計	内部取引消去
事業活動による収支	収入						
	就労支援事業収入	0	47,240	0	26,441,506	26,488,746	0
	障害福祉サービス等事業収入	673,223	516,752,807	62,731,096	90,342,828	670,499,954	0
	生活困窮者に対する相談支援事業収入	0	52,387	0	0	52,387	0
	経常経費寄附金収入	5,000	800,000	0	0	805,000	0
	受取利息配当金収入	813	414	0	188	1,415	0
	その他の収入	1,336,078	3,398,313	175	0	4,734,566	0
	事業活動収入計(1)	2,015,114	521,051,161	62,731,271	116,784,522	702,582,068	0
	支出						
	人件費支出	34,367,346	307,214,667	46,326,957	64,033,748	451,942,718	0
事業費支出	840,935	76,015,979	14,597,729	5,101,766	96,556,409	0	
事務費支出	7,496,120	91,081,541	2,519,599	3,807,624	104,904,884	0	
就労支援事業支出	0	45,719	0	30,322,039	30,367,758	0	
生活困窮者に対する相談支援事業支出	0	52,387	0	0	52,387	0	
支払利息支出	0	1,794,511	0	656,164	2,450,675	0	
事業活動支出計(2)	42,704,401	476,204,804	63,444,285	103,921,341	686,274,831	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-40,689,287	44,846,357	-713,014	12,863,181	16,307,237	0	
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等補助金収入	0	1,499,999	0	0	1,499,999	0
	施設整備等収入計(4)	0	1,499,999	0	0	1,499,999	0
	支出						
	設備資金借入金元金償還支出	0	22,380,000	0	6,504,000	28,884,000	0
固定資産取得支出	57,000	7,004,580	0	0	7,061,580	0	
施設整備等支出計(5)	57,000	29,384,580	0	6,504,000	35,945,580	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-57,000	-27,884,581	0	-6,504,000	-34,445,581	0	
その他の活動による収支	収入						
	長期貸付金回収収入	0	0	0	5,040,000	5,040,000	0
	積立資金取崩収入	15,580,000	1,783,040	0	1,620,000	18,983,040	0
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0
	拠点区分間繰入金収入	26,300,000	0	800,000	0	27,100,000	-27,100,000
	その他の活動収入計(7)	41,880,000	1,783,040	800,000	6,660,000	51,123,040	-27,100,000
	支出						
	積立資産支出	0	5,261,120	0	0	5,261,120	0
	事業区分間繰入金支出	306,962	0	0	0	306,962	0
	拠点区分間繰入金支出	800,000	13,300,000	0	13,000,000	27,100,000	-27,100,000
その他の活動支出計(8)	1,106,962	18,561,120	0	13,000,000	32,668,082	-27,100,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	40,773,038	-16,778,080	800,000	-6,340,000	18,454,958	0	
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)	26,751	183,696	86,986	19,181	316,614	0	
前期末支払資金残高(12)	5,776,503	112,012,161	19,259,527	8,474,814	145,523,005	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	5,803,254	112,195,857	19,346,513	8,493,995	145,839,619	0	

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位 : 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
小口現金	本部			20,453		20,453
小口現金	いっぼ			43,458		43,458
小口現金	のびる			18,282		18,282
小口現金	くろす			15,907		15,907
小口現金	かしの木			59,290		59,290
小口現金	すてっぶ			29,073		29,073
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3811529			8,280,519		8,280,519
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通4179413			7,535,752		7,535,752
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3811768			11,392,412		11,392,412
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3811826			23,605,031		23,605,031
普通預金	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3851798			10,000,733		10,000,733
小計				61,000,910		61,000,910
未収金						
未収金	本部		研修費	44,000		44,000
未収金	かしの木		国民健康保険団体2月・3月等	104,284,238		104,284,238
未収金	すてっぶ		国民健康保険団体2月・3月等	14,012,692		14,012,692
未収金	のびる		国民健康保険団体2月・3月等	28,183,472		28,183,472
小計				146,524,402		146,524,402
立替金						
立替金	本部		職員	354,741		354,741
立替金	かしの木		利用者	57,416		57,416
立替金	かしの木		利用者	599,423		599,423
立替金	のびる		のびる食事	554,650		554,650
小計				1,566,230		1,566,230
前払金						
前払金	すてっぶ		賃借代4月分	1,119,000		1,119,000
小計				1,119,000		1,119,000
前払費用						
前払費用	法人本部		更新手数料、家賃等	92,690		92,690
前払費用	すてっぶ		更新手数料	455,400		455,400
小計				548,090		548,090
仮払金						
仮払金						0
仮払金	法人本部		奨学金等	3,710,000		3,710,000
小計				3,710,000		3,710,000
流動資産合計						214,468,632

2 固定資産						
(1) 基本財産						
【基本】 土地	埼玉県入間郡三芳町北永井381-3 7,732.53㎡	1998	かしの木	1,179,368,000		1,179,368,000
	埼玉県入間郡三芳町北永井386他 2,325.78㎡	2016	かしの木 (くろす分)	70,387,382		70,387,382
	埼玉県入間郡三芳町北永井381-1 1,353㎡	2009	のびる	67,842,000		67,842,000
【基本】 建物	埼玉県入間郡三芳町北永井381-3 3470.24㎡	1998	かしの木	1,011,832,036	567,687,103	444,144,933
	埼玉県入間郡三芳町北永井381-3 888.29㎡	2016	かしの木 (くろす分)	255,359,700	33,196,761	222,162,939
	埼玉県入間郡三芳町北永井375-5 185.13㎡	2010	すてっぷⅡ	29,079,539	14,365,295	14,714,244
	埼玉県入間郡三芳町北永井381-1 612.03㎡	2009	のびる	99,594,379	38,431,191	61,163,188
【基本】 建物付属設備	空調工事	2008	かしの木	4,641,000	4,640,999	1
	空調工事	2010	かしの木	10,362,800	9,364,136	998,664
	内装工事等	2016	かしの木	17,505,525	7,623,662	9,881,863
	内装工事等	2018	かしの木	9,072,000	2,684,556	6,387,444
	内装工事等	2019	かしの木	12,107,600	6,704,123	5,403,477
	内装工事等	2016	かしの木 (くろす分)	68,660,000	29,901,430	38,758,570
	内装工事等	2010	すてっぷⅡ	11,092,711	9,661,753	1,430,958
	内装工事等	2009	のびる	63,260,013	57,398,252	5,861,761
	内装工事等	2016	のびる	1,882,440	819,806	1,062,634
	基本財産合計					
(2) その他の固定資産						
土地	埼玉県入間郡三芳町北永井	2009	のびる (駐車場)	23,330,000		23,330,000
建物			固定資産台帳どおり	6,486,560	1,820,201	4,666,359
建物付属設備			固定資産台帳どおり	55,939,479	46,457,742	9,481,737
構築物			固定資産台帳どおり	26,541,551	18,309,384	8,232,167
機械及び装置			固定資産台帳どおり	33,622,680	33,513,667	109,013
車両運搬具			固定資産台帳どおり	12,322,680	11,868,660	454,020
器具及び備品			固定資産台帳どおり	104,298,352	87,015,509	17,282,843
権利			固定資産台帳どおり	9,297,580	4,086,849	5,210,731
電話加入権			固定資産台帳どおり	745,801		745,801
ソフトウェア			固定資産台帳どおり	15,163,078	3,238,264	11,924,814
退職給付引当資産			埼玉県共助会	37,824,280		37,824,280
修繕積立資産	埼玉りそな鶴瀬支店 普通3851798		法人本部	60,420,000		60,420,000
保証金			かしの木 AED	20,000		20,000
長期貸付金	本部		谷崎愛子	23,940,000		23,940,000
車両リサイクル預託金			かしの木 AED	18,120		18,120
その他の固定資産			固定資産台帳どおり	966,909	753,399	213,510
その他固定資産合計				410,937,070	207,063,675	203,873,395
固定資産合計						2,333,441,453
資産合計						2,547,910,085

II負債の部						
1 流動負債						
未払金	本部			31,663,218		31,663,218
未払金	かしの木			23,252,027		23,252,027
未払金	すてっぷ			831,661		831,661
未払金	のびる			5,829,708		5,829,708
預り金	食費			223,209		223,209
預り金	日用品費			307,103		307,103
職員預り金	源泉所得税			1,012,803		1,012,803
職員預り金	住民税			1,019,100		1,019,100
仮受金	本部			66,354		66,354
仮受金	富士見市		補助金	906,256		906,256
仮受金	ふじみ野市		補助金	2,577,950		2,577,950
仮受金	三芳町		補助金	229,514		229,514
仮受金	利用料			810		810
未払消費税等				709,300		709,300
1年以内返済設備借入金				28,884,000		28,884,000
流動負債合計						97,513,013
2 固定負債						
設備資金借入金						358,114,275
長期運営資金借入金				60,000,000		60,000,000
退職給付引当金						37,824,280
固定負債合計						455,938,555
負債合計						553,451,568
差引純資産						1,994,458,517